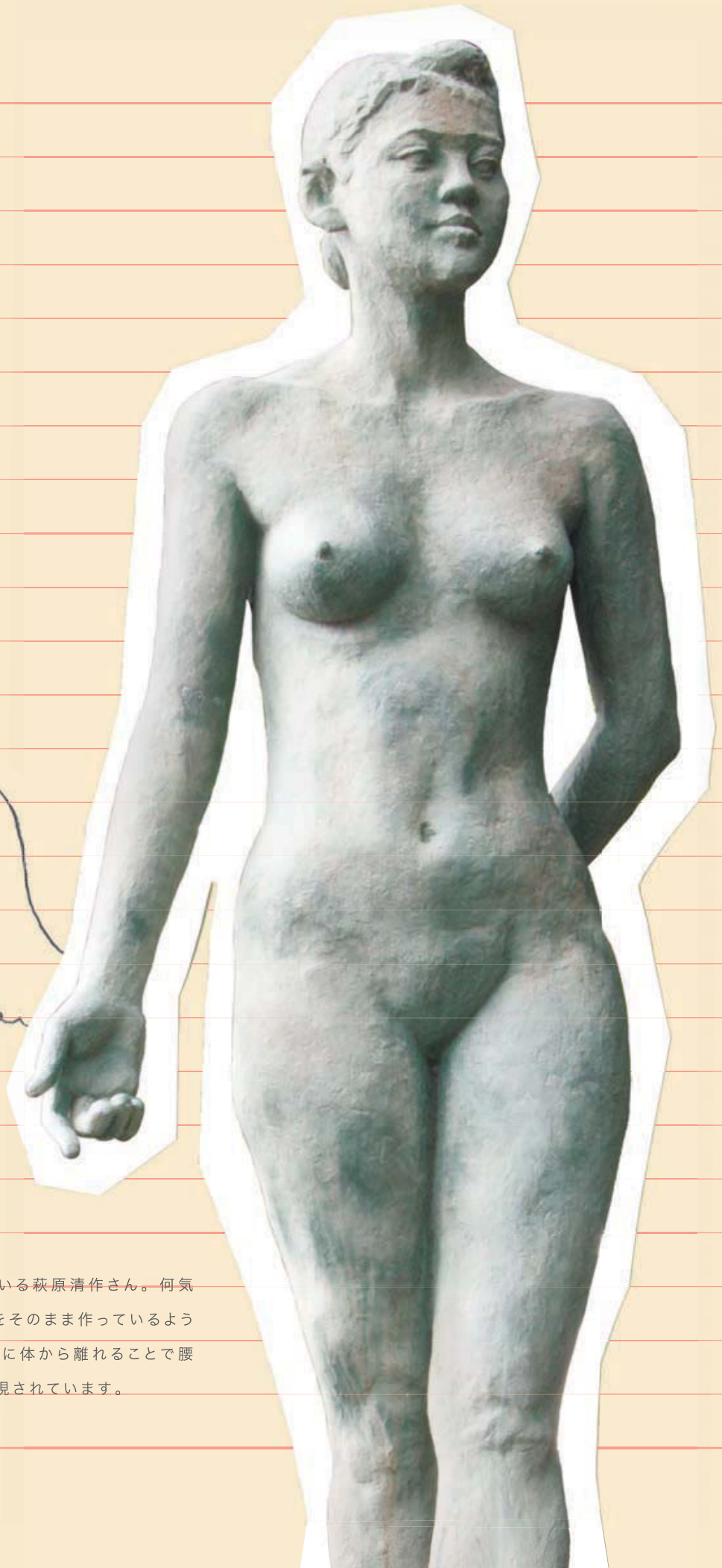
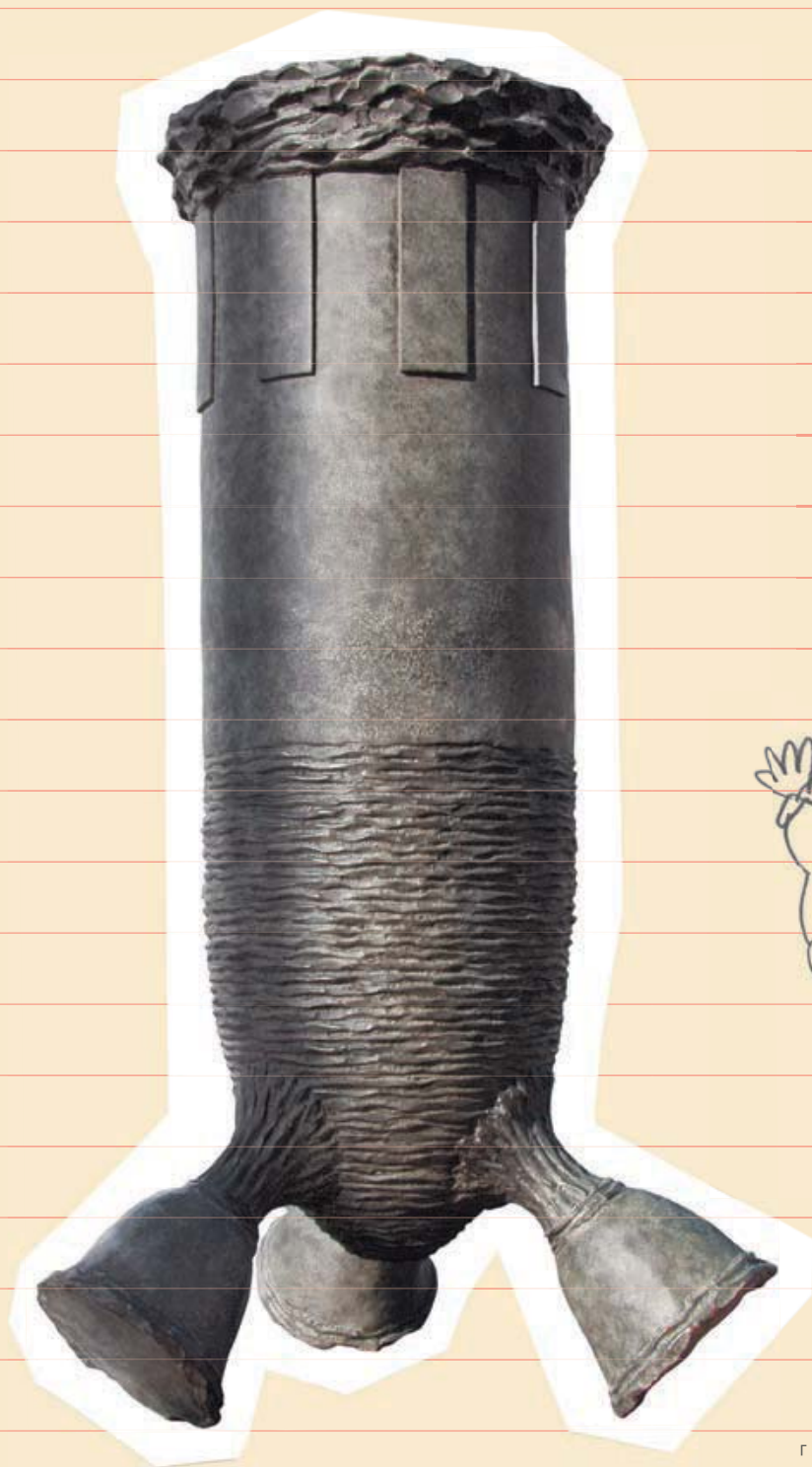


な
ん
で
裸
な
の
？

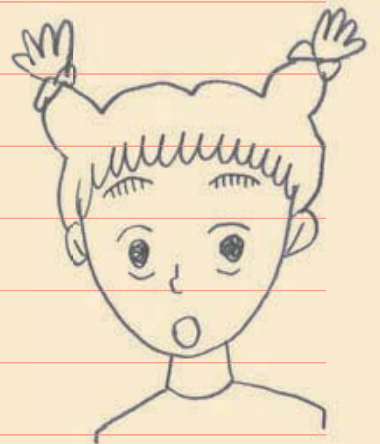


「裸婦」

写実を制作の軸としている萩原清作さん。何気なく立っているモデルをそのまま作っているようですが、右手がわずかに体から離れることで腰のくびれの美しさが表現されています。

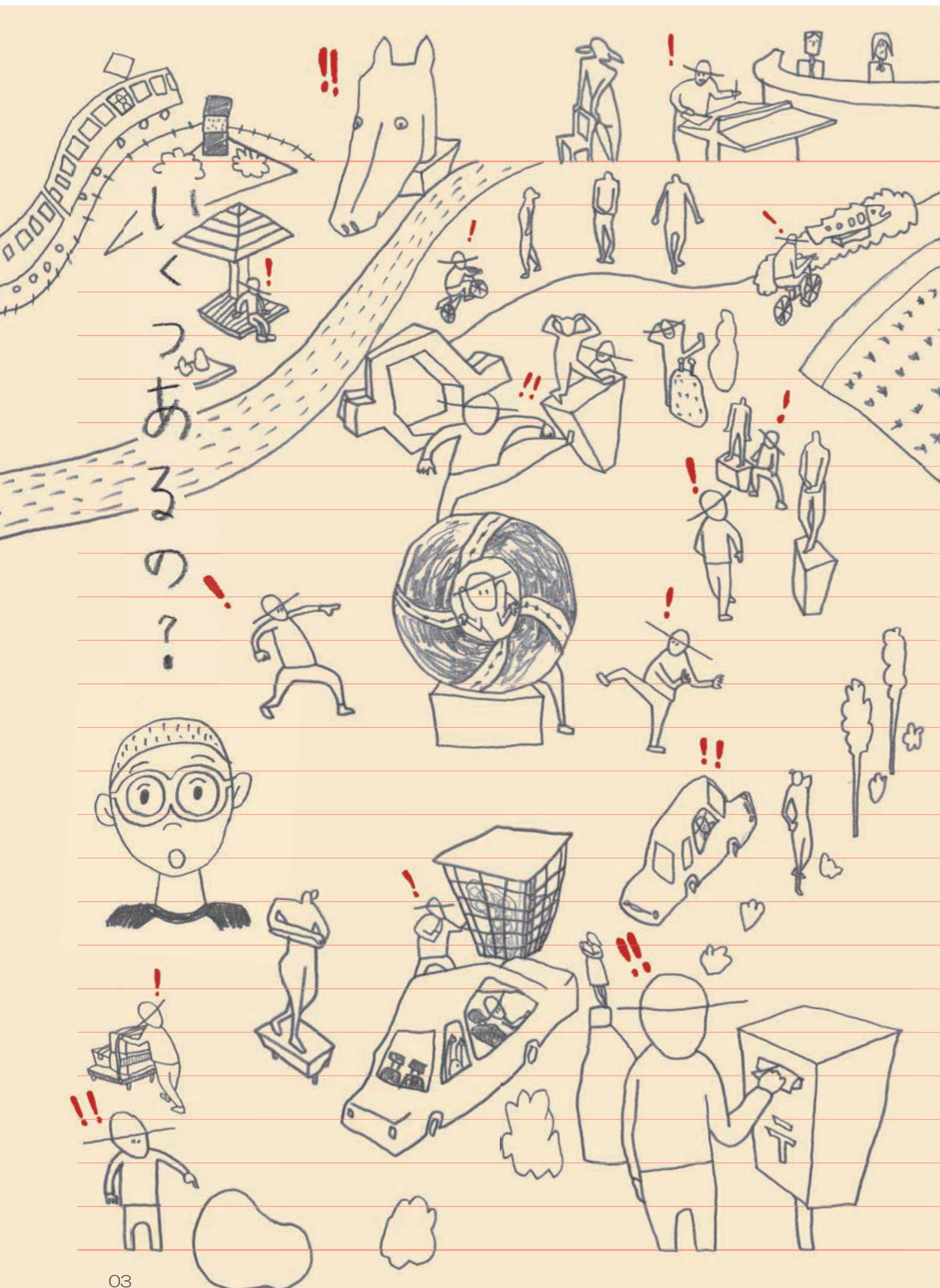


これ
なんなの？

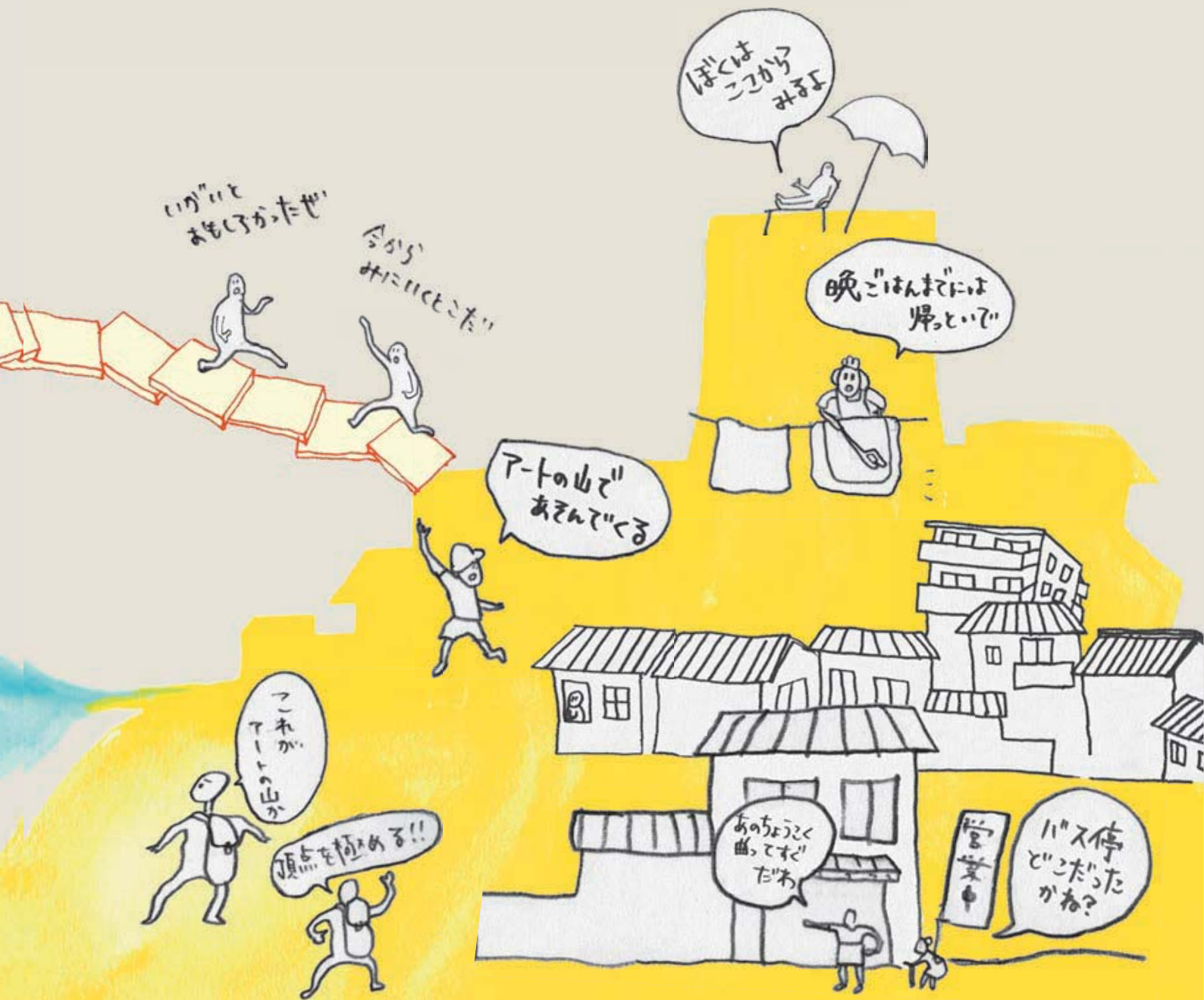


「Untitled 91-B」

遺跡から掘り出された謎の道具のように不思議な存在感を発揮する前田哲明さんの作品。鉄で作られた作品は光の反射で鈍い黒から明るい青まで様々な色の変化を見せてくれます。



あ
る
の
?



彫刻を「しむしむ」するため

北名古屋市内にある彫刻に何を感じますか? 『素敵だよな。』という方もいれば、『どこ見ればいいの?』とか、『そんなのあったっけ?』という方もいるでしょう。この本はそんなすべての方々に読んでもらいたいと思っています。

本の制作にあたって、わたしたちは、まずたくさん彫刻家に『彫刻の見方』をたずねました。すると、ほとんどの彫刻家は『自由に見て、好きな作品を探してください。』と優しく言ってくれたのです。しかし『自由に見る』ってどういうことなのかがよくわかりません。それもそのはず、どうやら彼らは作品制作の中で彫刻を見たり考えたりしていくうちに、『自由に見る方法』を身につけているようでした。でもそれは時間をかけて養われたもので、すぐにはまねをできるものではありません…。その一方、わたしたちも彫刻を難しく考えすぎているのではないかということにも気づきました。よくよく考えてみると街にあ



る彫刻は『見て!』とか『わかって!』と訴えているわけではありません。ただじつと街の中に立っています。

そう思い直してみると、「まずは彫刻を楽しんでしまえばいいのではないか」という考えが浮かびました。彫刻を「鑑賞する」ということよりも、まずは楽しむことが大切なのではないか。楽しむことができれば、気持ち近づきより彫刻に親しむ、そして親しみから彫刻を愛おしむ感情が生まれたなら、その方は立派な彫刻鑑賞者なのではないでしょうか。

「しむしむ」では、わたしたちが見つけた彫刻を楽しみむいくつかの方法を紹介します。この「しむ」をきっかけに、皆さんの「しむ」を増やしてください。

この本が北名古屋市市民と彫刻を結びつける架け橋となり、市民の皆さんが彫刻を「しむしむ」することを願って。

2013年3月

北名古屋市
彫刻ガイドブック制作

Hiromeyo-art

「彫刻^{ちようこく}」という言葉のそのままの意味は、石や木を「彫つたり刻んだり」すること。北名古屋市内に展示されている石彫作品は、まさに彫刻の代表的な表現方法です。一方、ブロンズ（青銅）で作られた作品もたくさん展示されていますね。じつは、これらのブロンズ像は、彫刻家が粘土で作った像をさまざまな工程を経て、ブロンズに置き換えたものなのです。はじめの像を粘土で作ることを「彫塑^{ちようそ}」と言います。

他にもたくさんの表現方法や材料を言い表すためにいろいろな名称が使われているのですが、この本では素材や表現方法で細かく分類することはしないで、立体的な芸術表現をすべて「彫刻」と呼んでいます。



そもそも
彫刻って
なんだろう？

具象【ぐしやう】

①目に見える形のあること。姿や形をもっていること。具体。↔ 抽象「一画」②形でわかりやすく表すこと。「言語は思想を一する」

抽象【ちゆうしやう】

事物や表象を、ある性質・共通性・本質に着目し、それを抽（ひ）き出して把握すること。その際、他の不要な性質を排除する作用（＝捨象）を伴うので、抽象と捨象とは同一作用の二側面を形づくる。↔ 具象（ぐしやう）

人の姿を彫刻で表現することは、古くは旧石器時代の昔にさかのぼり、ミケランジェロやロダンといった偉大な彫刻家を生みながら現在まで脈々と続いています。一方、二〇世紀のはじめにブランクシーという彫刻家がモデルの人体を模倣するのは異なる表現を試みはじめました。それは彫刻家作りた形を追い求める中で起こった変化で、既に一〇〇年以上の歴史があります。

北名古屋市には、いろんな作品が展示されていますね。とくに具象彫刻の代表である人体像が多くありますが、西春駅前を中心に抽象彫刻も展示されています。

見た目の違いよりも彫刻家がなぜそんな形を作ったのか考えてみませんか？

具象彫刻と 抽象彫刻って？



彫刻を
楽しむ
親しむ
愛おしむ

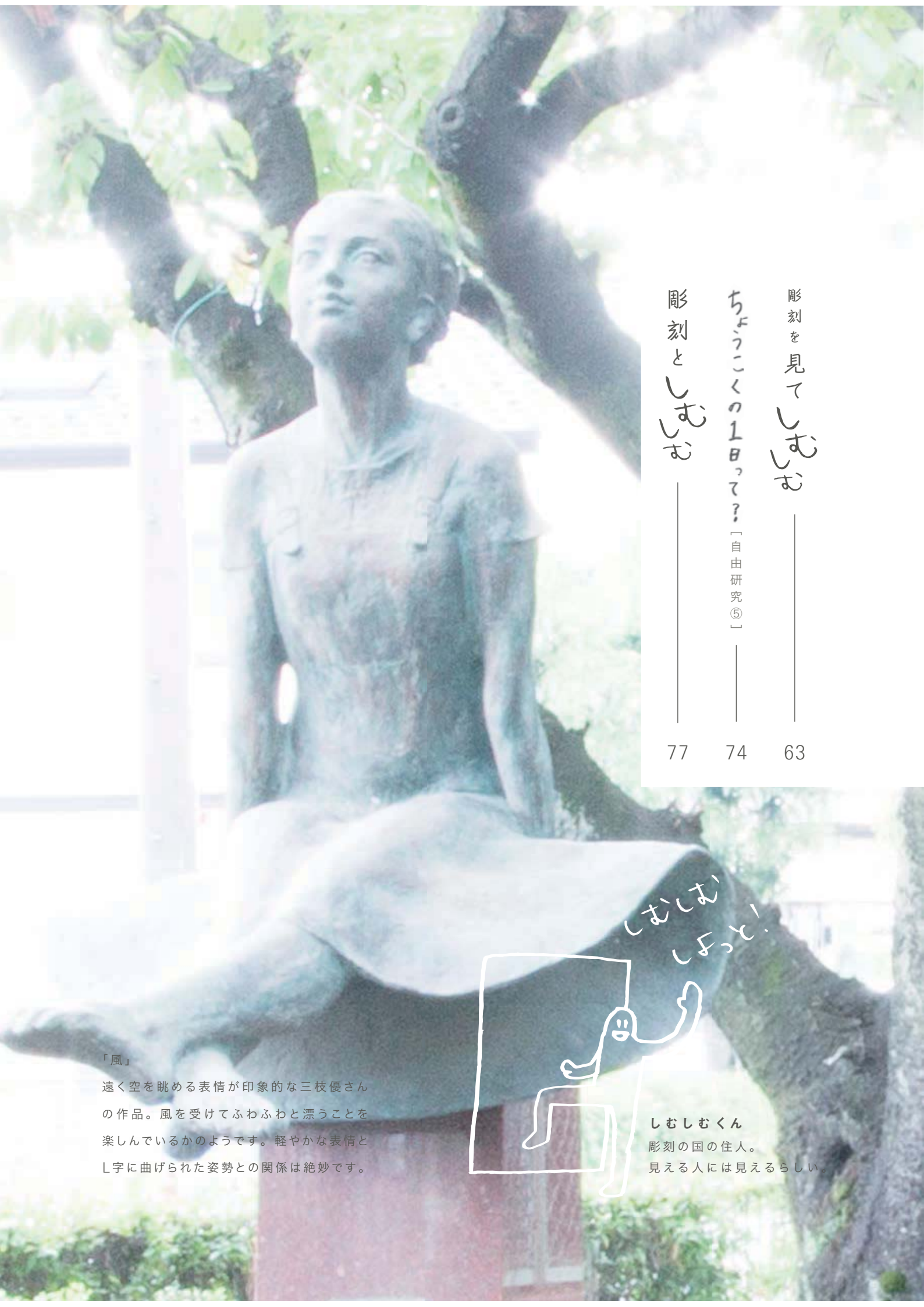
しましま

北名古屋市
彫刻ガイドブック

彫刻を「しましま」するために	4
そもそも彫刻ってなんだろう？	6
具象彫刻と抽象彫刻って？	7
まちと彫刻	10
67点「自由研究①」	16
なにみてるの？「自由研究②」	22
彫刻と遊んでしましま	24
はかってみたよ「自由研究③」	43
彫刻を学んでしましま	45
きいてみたよ！「自由研究④」	58



北名古屋市の小学校の同級生。
自由研究のテーマに通学路にある彫刻を選び「彫刻たんけん隊」を結成。好奇心のままに彫刻を調査中。



彫刻を見てしむしむ

ちようこくの1日って? 「自由研究⑤」

彫刻としむしむ

77

74

63

「風」

遠く空を眺める表情が印象的な三枝優さんの作品。風を受けてふわふわと漂うことを楽しんでいるかのようです。軽やかな表情とL字に曲げられた姿勢との関係は絶妙です。



しむしむくん

彫刻の国の住人。
見える人には見えるらしい。



まちと彫刻



「踏」

小振りながら躍動感のあるポーズが印象的な吉田鎮雄さんの作品。この女性は何かを踏んでいるのでしょうか。あるいはステップを踏んでいるのでしょうか。見つめる足元には何があるのでしょうか。不思議に感情が動かされる作品です。



「現在と過去の交点」

離れてみると四角い石にしか見えない櫻井
壽人さんの作品ですが、白い花崗岩は光に
よって表情が変化し、夜には石の結晶が街
灯の光を反射しています。近づいてみると
下部の無数の穴の奥にはツタが茂り、上部
には小さな階段があります。この階段は真
北を指しているのて夜には北極星を見るこ
とができます。



「三」

大きな御影石を三つ積み上げた喜多光さんの作品。単純なようですが上から見ると三角形になっており、どの向きから見ても形が違ってきます。石の表情もそれぞれ違うため、雨の日には濡れて艶を持つ2色の御影石のコントラストが美しい作品です。南から名鉄電車に乗ってやってくるとまず目にするこの作品は、北名古屋市の入り口を守っているかのようです。



「凜」

すっくと両足で立つ岩本亜希子さんの作品。北名古屋市には珍しい男性像です。何気ないポーズのようですが、多くの作家が作るのが難しいという両足に重心を均等におく姿勢。離れるとそのポーズの美しさがよりよく見える作品です。



「つばさ」

遠くに見えるのが橋本恵更さんの石彫です。赤い御影石で作られた作品が木々の緑とともに水面に映っています。単純な形のように見えますが、見る角度での形の違いが周りの風景と相まって大きく印象を変える作品です。

問題
北名古屋市が展示している彫刻は
何点あるか。総数を答えよ。
(2013年現在、公共施設内のものも含む)

67
点



ムキーツ!!

愛ちゃんのテストの
点数?



ちょうこくの数字って
書いてあるけど.....



ちょうこく?
67点もあるの?



たしかめるがっ!





遊-III

岩井 義尚
ブロンズ
1991年
A-2



春夢

神戸 峰男
ブロンズ
1989年
A-3



AUTANAは
ベネズエラの
聖なる山のこと
なんだから



裸婦

萩原 清作
ブロンズ
1991年
A-2



野

神戸 峰男
ブロンズ
1990年
B-4



雄叫び

石田 清
ブロンズ
1992年
A-2



実り

神戸 峰男
ブロンズ
1990年
B-4



魚

大口 明一
御影石
1992年
A-2



語らい

石田 武至
ブロンズ
1991年
A-2



AUTANA

ヒメナ エルゲダ
陶器
1998年
D-3



踏

吉田 鎮雄
ブロンズ
1992年
A-2



風

三枝 優
ブロンズ
1991年
A-2

ワタシの
かみがたに
にこる?





静流

鈴木 琢磨
ブロンズ
1995年
B-2

北月が
同じくらいかなー



私エリ
スペースベ?



ちえ

早川 高師
ブロンズ
1992年
A-2



天地無用

中野渡 俊幸
御影石
1995年
A-2



踊り子

加納 秀美
ブロンズ
1992年
A-2



BALLERINA

石田 武至
ブロンズ
1992年
B-2



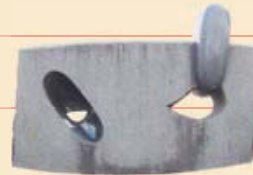
豊穣

三枝 優
FRP
1996年
C-3



浮島の幻想

市之瀬 廣太
ブロンズ
1994年
A-2



EXPERIENCE

橋本 恵史
御影石
1992年
A-3



COUPLING

川合 教文
御影石
1996年
A-2



手・にぎる

渡辺 聡典
御影石
1994年
C-3



モーメント

今溝 訓
FRP
1992年
A-2



妹

大谷 あや子
ブロンズ
1996年
A-2



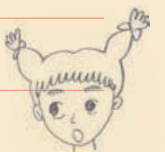
三

喜多 光
御影石
1994年
D-3



寛ぎ

吉田 鎮雄
ブロンズ
1992年
B-2





ゲーム
に出よう……



トルソ

張 家銘
御影石
2000年
C-3



懐襟

石田 達郎
ブロンズ
1998年
B-3



豊 -fragrant

百崎 典絵
ブロンズ
1997年
D-3



響美

大脇 正祥
石膏
2000年
A-5



菩提樹

石田 清
ブロンズ
1999年
B-2



Metamorphosis

橋本 恵史
御影石
1997年
D-3



凜

岩本 亜希子
ブロンズ
2000年
A-3



黒いチューリップの香り

張 家銘
御影石
1999年
B-3



立つ人

杉山 詩乃
ブロンズ
1998年
C-3



目を閉じる・・・

柴田 恭宏
ブロンズ
2000年
B-3



春光

井上 明
ブロンズ
1999年
C-3



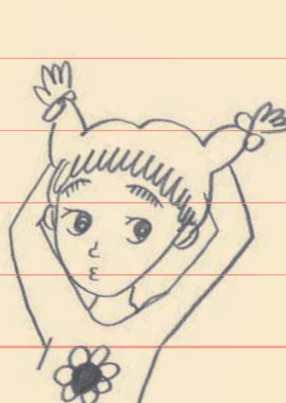
二人

鈴木 留美子
ブロンズ
1998年
C-3



秋桜

長谷 和幸
ブロンズ
2001年
B-3



空気イスなら
ワタシにも
できる〜!



畝童

上杉 真由
ブロンズ
1998年
D-3



遠音

伊東 禎子
ブロンズ
2008年
C-3



未来

近藤 真一
ブロンズ
2005年
D-3



ふたり

木下 泉
御影石
2001年
A-2



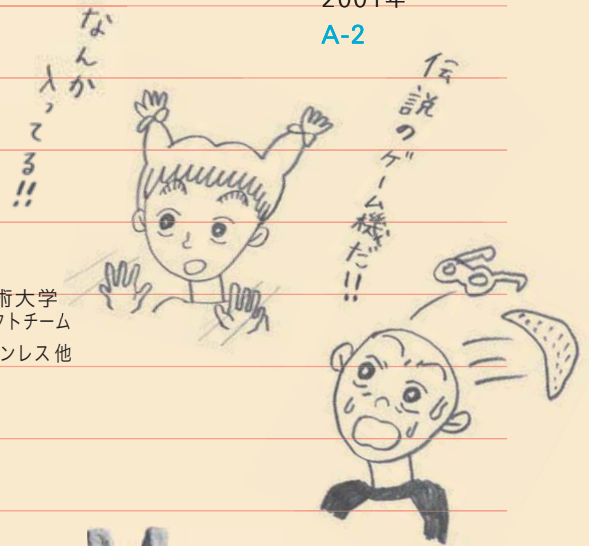
聴

森本 紗月
大理石
2009年
C-3



記憶の声

愛知県立芸術大学
アートプロジェクトチーム
ガラス・鉄・ステンレス他
2010年
C-3



**Stone-Capsules
-集う-**

鈴木 典生
黒御影石
2010年
C-3



西の国より

神戸 峰男
ブロンズ
2005年
C-3



馬

玉井 克憲
御影石
2002年
B-1



夢のかなたに

新谷 一郎
花崗岩
2010年
C-3



Mermaid

山本 友子
ブロンズ
2006年
B-3



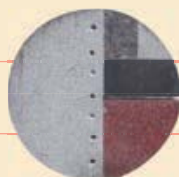
a mark

中田 絵美
御影石/トラバーチン
2003年
B-2



ペーパー・ムーン

飯塚 一郎
ステンレス
2010年
C-3



集合体

宮崎 祐衣
御影石 各種
2007年
C-3



無題

佐光 佳子
大理石
2004年
B-1





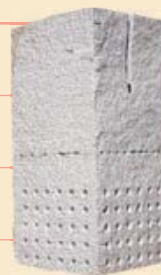
若い女

石田 清
ブロンズ
-
C-3



双一波

湯村 光
黒御影石
2010年
C-3



現在と過去の交点

櫻井 壽人
花崗岩 (黒・白)
2010年
C-3



和

石田 武至
ブロンズ
-
B-4



明日へ

長谷部 尚子
ブロンズ
2011年
C-3



自立の表現

山岡 昇
ステンレス
2010年
C-3



—

川岸 要吉
ブロンズ
1983年
B-4



つばさ

橋本 恵史
赤御影石
2012年
A-5



**オウシ・ゾウケイ
空間のメビウス'09**

牛尾 啓三
黒御影石
2010年
C-3



これが
セイジユ
レって
が
フネ

絶望と希望

松田 和也
黒御影石 / 白御影石
2012年
※本作品は学生作品の
展示スペースへの設置
であり、変更される場
合があります。
C-3



回転翼 / はばたき

生形 貴春
ステンレス
2010年
C-3



—

-
ブロンズ
-
B-4



椅子と女

石田 武至
ブロンズ
-
C-3



Untitled 91-B

前田 哲明
鉄
2010年
C-3



あのさー
あのヒトたちってなに見てんのかなあ？



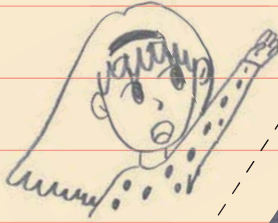
し
う
べ
に
い
こ
う

お仕事がんばって！



なにみてるの？

地面がよ！



目、あってないよー！

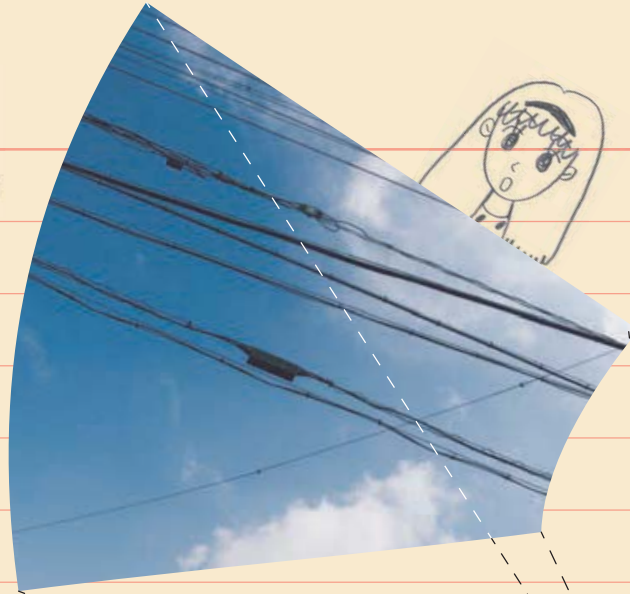


表現ですから



試合に負けたときは

ワタシも空を見上げるよ



キレイな景色



またねー

もう夕方があ
そろそろ帰るっと!



じゃあ
お別れ
争だあ~!

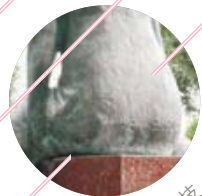
まだ
走るの!?



彫刻と 遊んでしまおう

近づくために仲良くなる 仲良くなるために一緒に遊ぼう

彫刻を「鑑賞する」ということは絵画より少し難しいことなんです。
なぜなら彫刻は一度で全体を見ることが出来ません。
また光の具合や見る角度によっても表情を変えてしまいますし、
彫刻家が大切にしている表面の様子も触らないと分かりません。
つまり鑑賞するためにはたくさんの要素が必要なんですね。
でも難しいからといって、その方法を学ぶ前に、まず近づいてみましょう。
「鑑賞」する相手ではなく、「遊ぶ」相手として気持ちを近づけてみましょう。



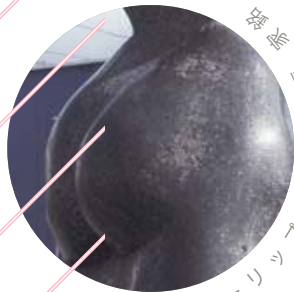
「風」 三枝 優



「甜-fragrant」 百崎 典絵



「語らい」 石田 武至



「黒いチューリップの香り」



「秋桜」 百崎 典絵



「裸婦」 萩原 清作



「子り騒」 加納 秀美

黄



「漂」 岩本 亜希子

青



「浮島の幻想」 岩本 亜希子



「雄叫び」 石田 武至

赤?

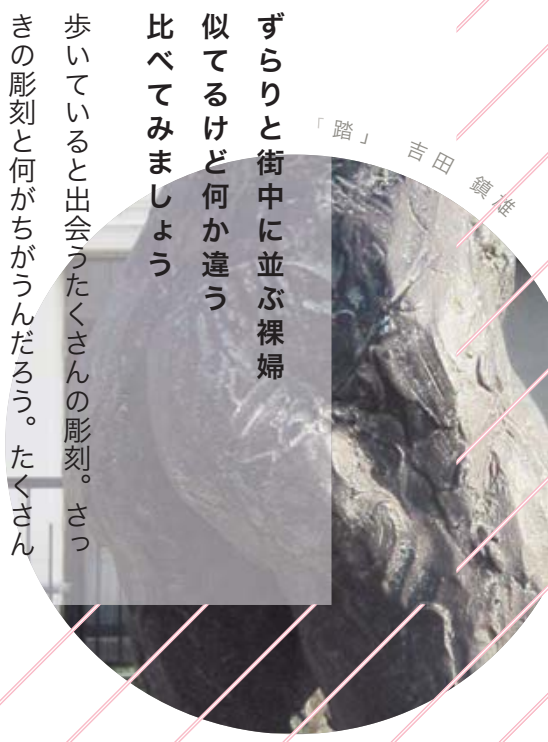


「菩提樹」 岩本 亜希子



「立つ人」 岩本 亜希子

ずらりと街中に並ぶ裸婦
似てるけど何か違う
比べてみましょう
歩いていると出会うたくさんの彫刻。さっきの彫刻と何がちがうんだろう。たくさんものが並んでいると、ざっくりとひとまとめで分かったつもりになってるとあってありませんか？
そんなときのいい方法が「部分見」です。彫刻を部分にしぼってたくさん見比べてみるのです。同じように見えたものも部分で比べてみると、いろいろなことに気がつきますよ。大きさ、素材、色、形。触ってみるともっと違いが分かります。隣の彫刻とも比べてみたり自分とも比べてみたり。特に人体像はわたしたちと同じ人間をモデルにしていますから、その違いも分かりやすいですね。



「踏」 吉田 鎮雄



「Mermaid」 山本 友子



「和」 石田 武至



「未来」 近藤 真一



「畝童」 上杉 真由



「踊り子」 加納 秀美



「踏」 吉田 鎮雄



「秋桜」 長谷 和幸



「凜」 岩本 亜希子

ちか
か
か
か



「手・にぎる」 渡辺 聡典



「春夢」 戸神 峰男



「BALLERINA」 石田 武至



「立つ人」 近藤 真一

ぎゅ



「菩提樹」 石田 尚



「Mermaid」 山本 亜子

ほ



「作品名不明」 川島 暎子



「明日へ」 長谷 和幸



「操縦」 萩原 清作



「菩提樹」 石田 清



「浮島の幻想」 市之瀬 廣太

し

ろ



「秋桜」 長谷 和幸

Mermaid



山本 友子

さ



「雄叫び」 石田 清



「BALLERINA」 石田 武至



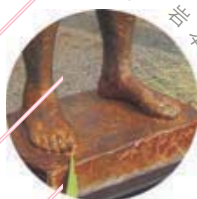
「風」 三枝 隆



「裸婦」 萩原 清作



「YACOBI」 山本 詩乃



「凜」 山本 理希子



「語り」 石田 武至

ご



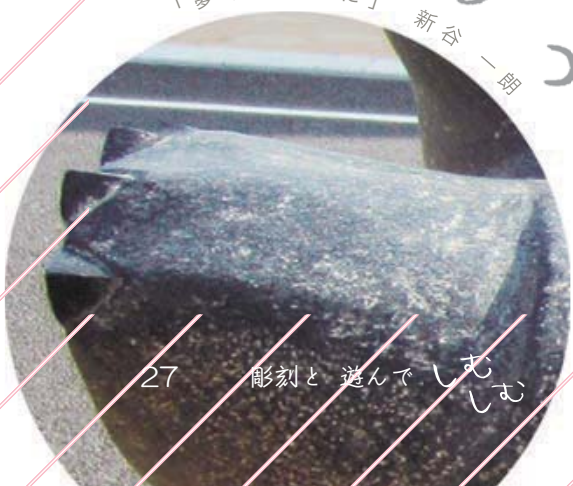
「踏」 吉田 顕雄



「故郷」 上杉 真由

る

「夢のかなたに」 新谷 一朗



「西の国より」 神戸 峰男



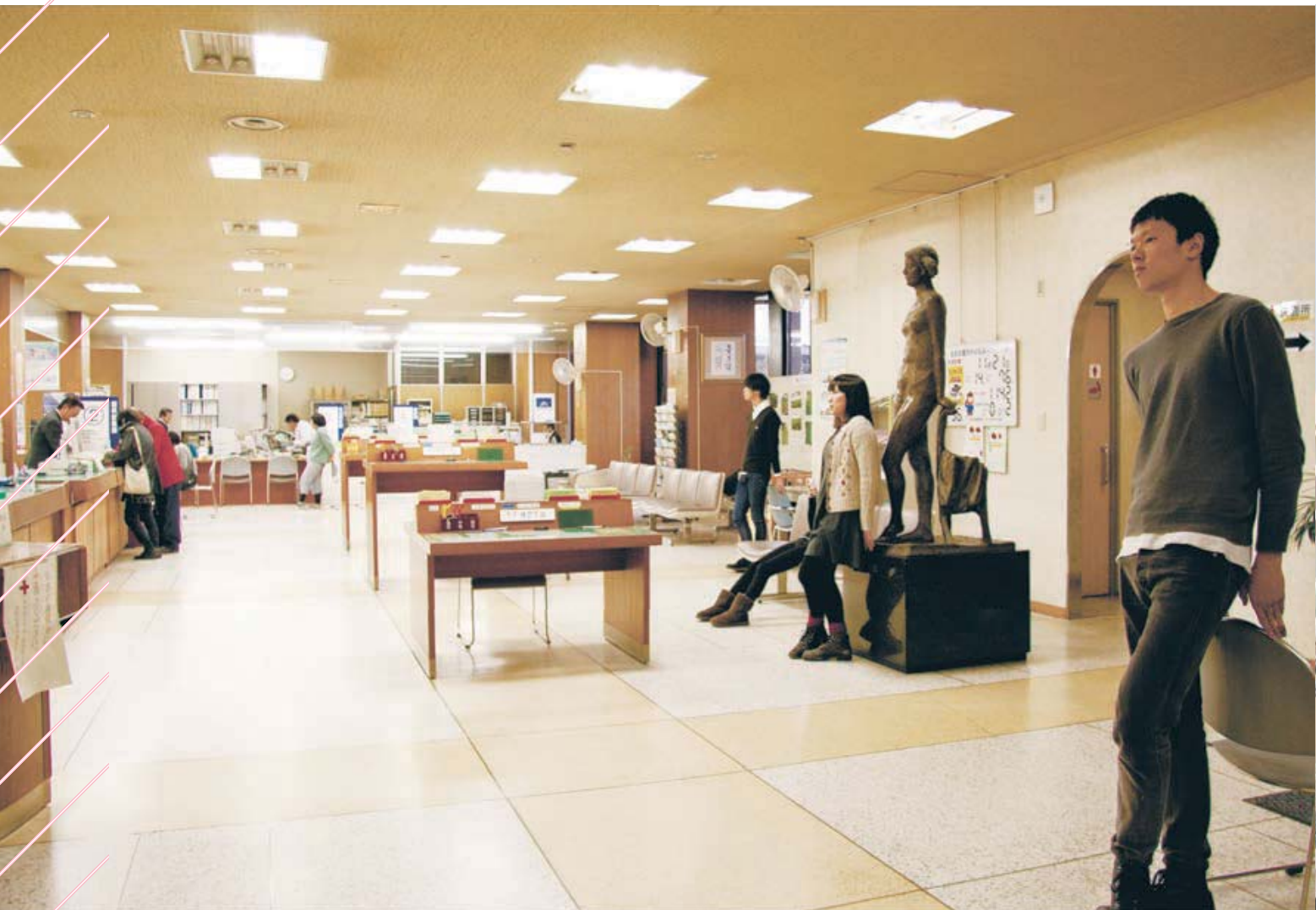
「ちえ」 泉川 健児



泉川 健児

まねしてみると





〈上〉西庁舎にある「椅子と女」のポーズをまねしてみた。ポーズをまねして分かったことは、市役所ではよくあるポーズだということ。
 〈下〉同じポーズで横に並んでみた。まるでどこかのロックバンドのCDジャケットのようだ。このポーズは若い人の独特な気分を表しているのだろう。

〈右〉「踏」をまねしてみると、手の位置、足の位置などのバランスが難しく、静止したポーズでは無く動的なポーズであることがよく分かる。この瞬間、この女性は何を踏んだのだろうか。



彫刻家が体を使って作った作品を体を使って鑑賞してみよう

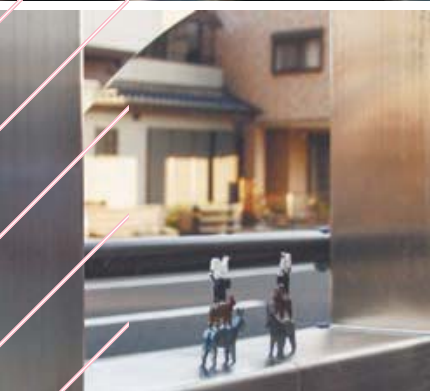
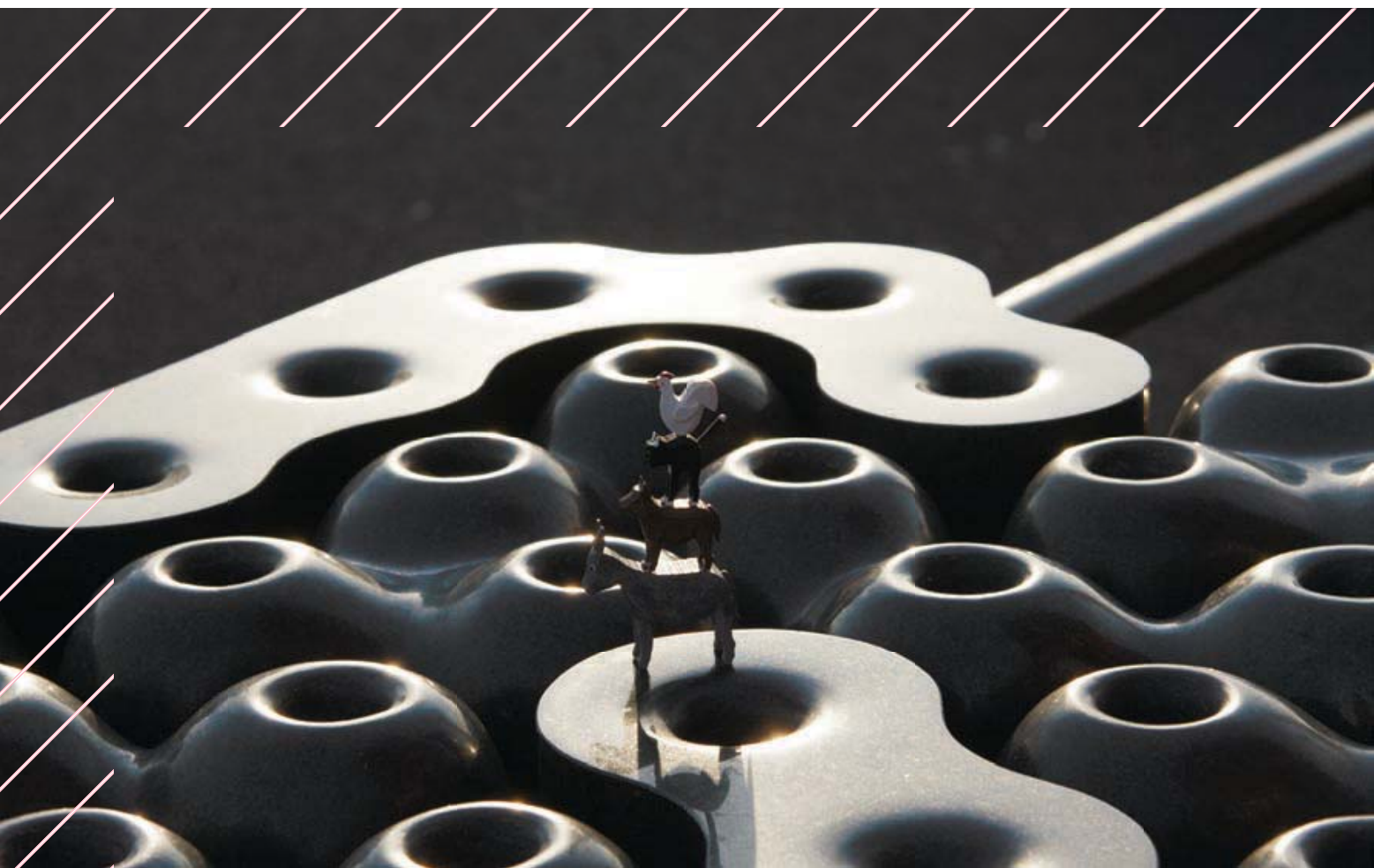
一見すると妙に見えるかも知れませんが、彫刻のポーズをまねるといのは、からだで彫刻を感じることに。まねてみると、どんなポーズかがよく分かります。

手はどれくらい上げてるのかな。つま先立ちかな、両足ついてるのかな。体をどれくらいひねってるのかな。

もしかしたら、彫刻家はそのポーズに込めた気持ちまで感じることが出来るかもしれません。何より楽しい気分になりますよ。

置いてみると





〈上〉「Stone-Capsules」の特徴的な凹凸には苔や草が生え、雨の日には水がたまる。ここに動物たちが立つと、まるで荒々しい原野をプレーメンに向かって旅しているようだ。

〈右〉仲睦まじくほほえむ「ふたり」の一方になぜか、ロバとイヌ。そしてもう一方にはネコとニワトリがいる。ふたりの微笑みは孫たちが騒いでいるのを穏やかに聴いているよう。

〈左〉「自立の表現」の鏡のように磨かれたステンレスを覗き込む動物たち。彼らのように自分の姿を写したとき、私たちは何を思うのだろう。

※今回、彫刻の上に置いてみたのはグリム童話の『プレーメンの音楽隊』の動物たち。ドイツのプレーメンの市庁舎前にはこの彫刻像があります。

作品と何かが出会ったとき、
どんなことがおこるのかな

これは「いたずら」ではありません。

彫刻にあなたの大切なものをそっと置いてみると、「こころみ」です。大切なものを置くのだから慎重に。そしてひとつしかない彫刻にも優しく。

まず、どこに置こうか考えてみましょう。それはつるんとした表面ですか？ でこぼこした表面ですか？ 何色ですか？ まわりはどんな景色ですか？ 置こうと思った彫刻をいつもよりじっくりを見たり、触ったりして、確かめましょう。

大切なものが置けたら、一歩離れて彫刻を見てみましょう。なにかいつもと違って見えませんか？ 置いたものと作品が一緒になってストーリーが生まれてきませんか？ もし、違って見えたり、ストーリーが生まれたら、それはあなただけのもの。他にもためしてみましょう。

こんなことがためせるのも、彫刻のある街の特権なのかもしれませんね。

撮ってみると

写真を撮って

自分だけの

ベストアングルを探そう

レンズ越しに見たとき、彫刻はどんな表情を見せてくれるのでしょうか？

写真家の山田亘やまだこうさんに携帯カメラで撮る「彫刻写真」のコツを教えてくださいました。彫刻だけでなく人物写真にも役立つ方法です。写真を撮る瞬間、そのときの気持ちや感じたことを写真の題名にしてみました。

あなただけが目にした瞬間をカメラでとらえ、あなたの気持ちを言葉にして特別な「彫刻写真」にしましょう。



そらとくもの間のひととき



おへそに秘められた景色



カーテンから来た人は背が高い



まるでしかくの穴



音をつかむのはこれ



深海魚は夜にひそむ



交差する明かりと人影



あたたかい雪がおちる



ときにとまらん

写真家 山田亘さん インタビュー



きれいな光を探そう

写真は「光がきれいな場所や時」を見つけられたらどんなカメラでもいい写真がとれるんですよ。だからカメラの使い方よりもかにいい光を探すかなんだ。まずは彫刻がきれいに見える天気や時間帯はいつなのかを観察して一番光のきれいな時に撮る。それが一番のコツ。

背景をぼかそう

背景のピントがぼけると主役が引き立ちます。一眼レフなら絞りなんかでボケを作れるんだけどスマートフォンカメラの場合それは難しい。だから背景がより遠くに離れている場所や角度を探すと、なんとなく感じてボケてくれる。人物写真を撮るときでも壁にぴったりくっつかず出来るだけ前にもらって撮るといいんだよ。



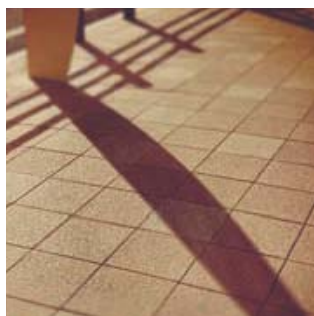
青に立つ先の青さ



月と星と月とバイク



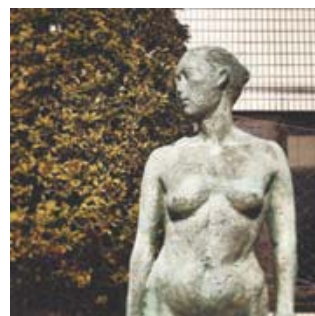
ノルマンディーの朝



地球に刺さる月の影



背に吠える木



いがか香るキンモクセイの前で



記憶の人が来ている



月あかりのブルーの世界に



すべり込めば間に合う

タップする位置で明るさを調整しよう
 スマートフォンの場合、タップ(タッチ)したところにピントや露出をあわせてくれるようになってるんだけど、顔の表情を明るく撮ろうと思ってそこをタップすると、顔が影のように黒いシルエットのようになってっちゃうことが多い。これはスマートフォンの画面に映る顔ってタップするには小さいから。カメラが顔の周りの明るい空の方に露出をあわせてしまったってことなんだ。だから胴体や足元とか顔と同じ明るさでもっと面積の広いところをタップする。そうすると顔の表情やディテールも明るく写すことができるんだ。

アングルにこだわるう

アングルに関しては携帯カメラのほうが、一眼レフよりいい写真を撮りやすいことがある。軽いので自由度が高いのと、四角い画面のすみずみまで見てアングルが決められるから。ピントは合うように出来るんだから、大胆に画面をいっぱい使った写真を撮ってほしいよね。

味わってみると



彫刻を「味わって」みる？

料理の盛りつけの極意を知ってますか？それは、立体的に盛ること。そうすると見え方が変化し驚きと感動が生まれます。さらに素材の切り方や並べ方を工夫したり、料理に合ったお皿を選ぶことも大切ですね。実は彫刻も驚きや感動を感じてもらえるよう、似たような工夫がされています。場所に合わせて素材や形を考えたり、彫刻に合う台座を選んでいきます。

彫刻家のようにお皿に料理を盛りつけてみましょう。素材をどう並べますか。それはどんな味がしますか。「料理は彫刻」。そう考えると他にも庭園や茶会、ヘアスタイルやファッションにも共通の工夫や見方、楽しみ方があるようです。

一方、彫刻家たちは何を楽しんでいるのでしょうか。彼らが読んだ本や彫刻家が出てくる物語、おすすめの音楽を集めてみました。彫刻家として刺激を受けた本。制作中に聴く音楽、制作後に聴く音楽。ほんの一部ですが彫刻家たちの好みを知ると、彫刻を違う角度からより深く味わえそうですね。



大学院生 志満津華子の
オススメ

彫刻家 岩井義尚の
オススメ

Hironao-arts
オススメ

彫刻家 萩原清作の
オススメ

彫刻家 庄司達の
オススメ

彫刻を読んで味わう

『Sculpture』
Jean-philippe Chabot
Moonlight Publishing
1996年

児童書にしておくにはもっ
たいないくらいレベルが高
い！どうして日本語版が無
いかな。芸大生も見ろべき
本ですね。制作のプロセス
がビジュアルでわかりやす
く紹介されてて、作り手
からすると知ってほしいと
ころでもあるからいろんな
人に見てほしいな。

『柔侠伝』
バロン吉元
双葉社
1983年

彫刻って完成するまでにと
ても長い時間がかかる。「柔
道」に、というよりもひと
つのことに打ち込み続ける
人生にどうしても感情移入
してしまうんだよね。

『彫刻家の娘』
トーベ・ヤンソン /
富原真弓 訳
講談社
1980年

『ムーミン』の原作者のトー
ベ・ヤンソンの幼い頃を
綴った自伝的小説。トーベ
のパパはフィンランドでも
有名な彫刻家だっただけ
ど、そのパパの作品やアト
リエ、とりまく出来事を尊
敬と愛情を持って眺める眼
差しが素敵。

『純粹彫刻論（復刻版）』
橋本平八
伊勢文化舎
2012年
(原本は1942年に出版)

橋本平八は三重の人で、
38歳で亡くなってしまっ
たんだけど、本当にいい仕
事を残したんだ。有名な
のは『花園に遊ぶ天女』。円
空を再評価した人でもある
んですよ。この本も復刻版
なんだけどすごくこだわ
って出版されてるんですよ。

『イサム・ノグチ
—宿命の越境者（上・下）』
ドウス 昌代
講談社
2003年

イサム・ノグチは父が日本
人で母がアメリカ人の彫刻家。
時代背景もあって、その出
生ゆえにどちらの国からも受
け入れられない人だった。
そのために彼は芸術家にな
った。芸術家であること
で、人種を超えた人間でい
られると彼は考えた。芸術
の力を信じていたんだよ。

彫刻を
聴いて
味わう

彫刻家 絹谷幸太 の オススメ

大学院生 木藤淳成 の オススメ

彫刻家 櫻井壽人の オススメ



彫刻家 三枝優 の オススメ

"TIME OUT"

The Dave Brubeck Quartet
COLUMBIA
1997年

(オリジナルは1959年)

バロック音楽やモーツァルト、他にもいろいろ聴くんだけど、ジャズは学生の頃、吉祥寺のジャズ喫茶で聴いてたことを思い出すんだよね。このアルバムではやっぱり "Take five" が好きだな。

"helen merrill"

Helen Merrill
Polygram Records
1989年

(オリジナルは1955年)

制作中は削ったりする音がすごいから音楽は聴かないんだけど、制作の後なんかはウイスキーを飲みながらこのアルバムを聴いてるとゆったり出来るんだ。

"Chill:Brazil 4"

Various Artists
Warner
2006年

このアルバムのさまざまな音楽に身をゆだねていると、ブラジルで制作していた3年間の日々がよみがえります。それは赤い大地、植物の緑、青い空、アマゾン河、珈琲農園や海であり、あらゆるものが混ざり合い、受け入れる寛大さです。

"Made in Heaven"

Queen
Hollywood Records
1995年

いろいろ聴くんだけど、このアルバムの "I was born to love to you" は、やっぱり気持ちが上がる。歌いながら制作する時もありますよ。突然歌い出すから同じアトリエで制作している人はびっくりしてるみたい。

"Just Push Play"

Aerosmith
Sony Records
2001年

石彫場で一人で制作する時ってけっこう寂しいんですけど、そんな時はお気に入りの "Sunshine" を聴いて気持ちを上げて制作します。

つくってみよう

彫刻をよく知るためには、
つくってみることが一番。
そこで、身近にあるアルミホイルを使って、
彫刻をつくるワークショップを開催しました。

彫刻ワークショップ

アルミホイルでかざくをつくろう



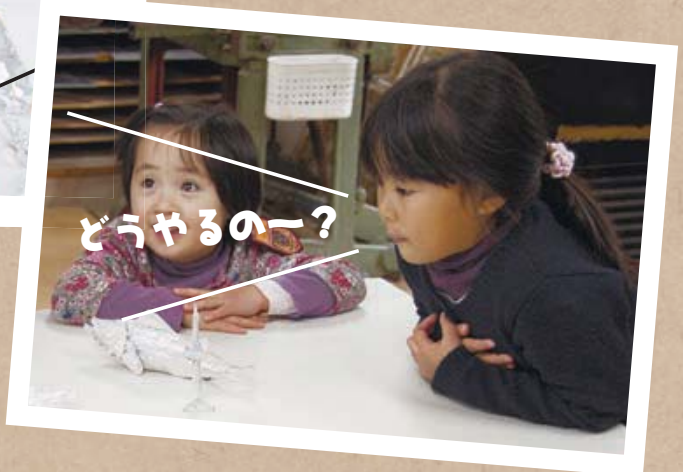
アルミホイル

だるまかなま

こうやって
つくるんだよ



えー?!
アルミホイルでー?



どうやるのー?



きうそく
かってきうそく



きうそく
きうそく



きうそく
きうそく



きうそく
きうそく



いつものまじり
まじりまじり



みもしくく
なってきた!



つぎは
いろいろだ!



きいろで
きいろで



あが
めりめり



きれいな
きれいないろで



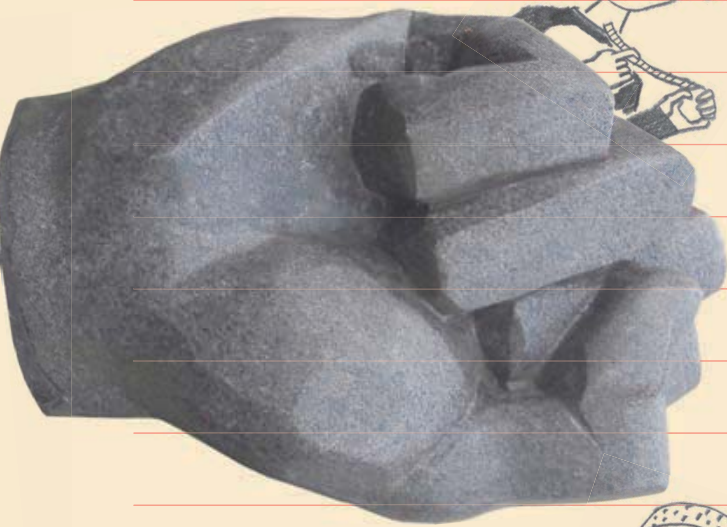
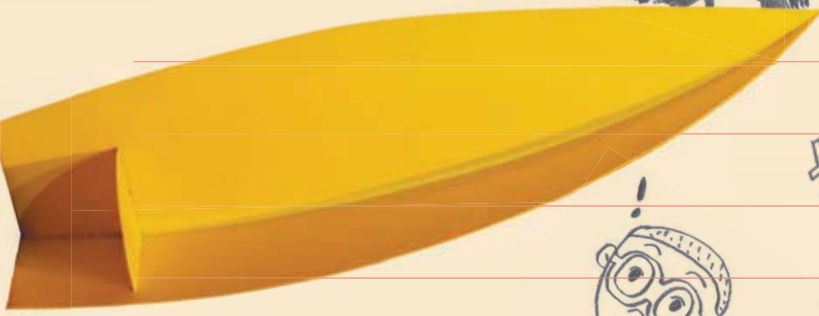
かんせい
かんせい!!





おじいちゃんに
メジャーを
もらったんだー!

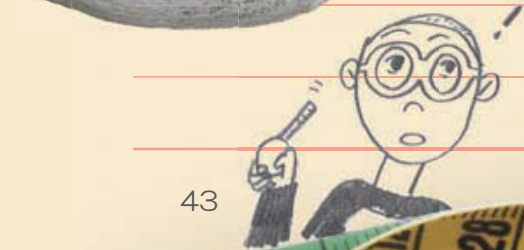
は
か
っ
て
み
た
よ



サイ
ズ
を
測
り
た
か
ー!

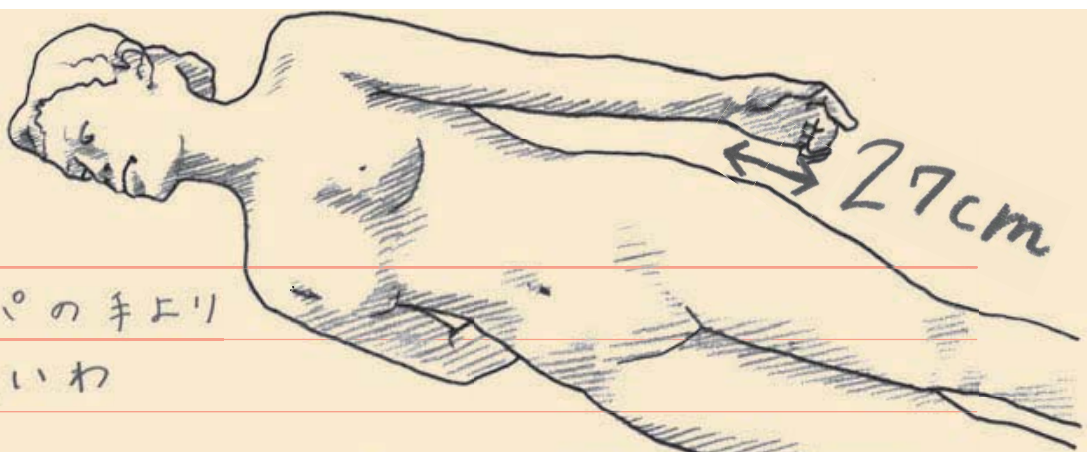


だ
ね
え





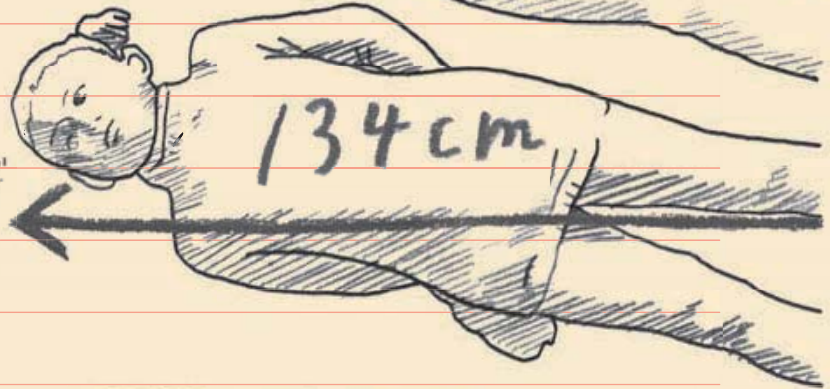
パパの手より
大きいわ



27cm



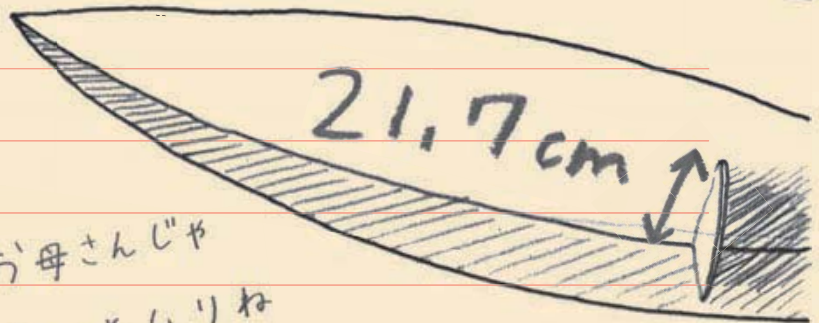
わたしのほうが
5mm高い!
やった!



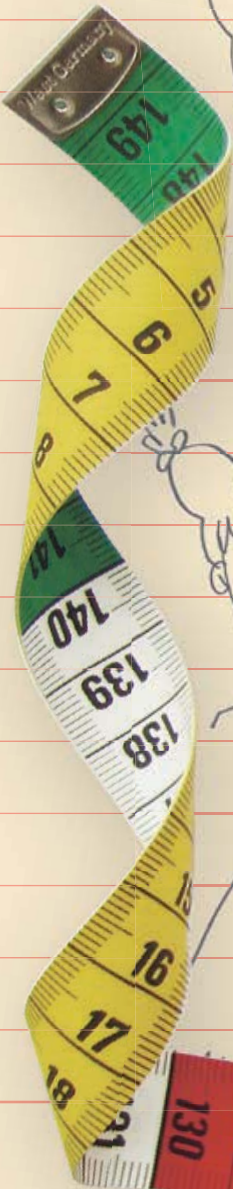
134cm



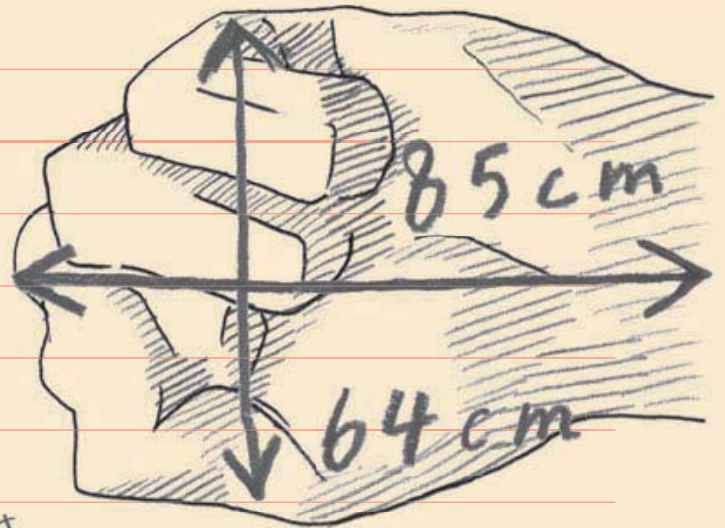
うちのお母さんじゃ
ちよとムリね



21.7cm



サッカーボール
3-4個分ね

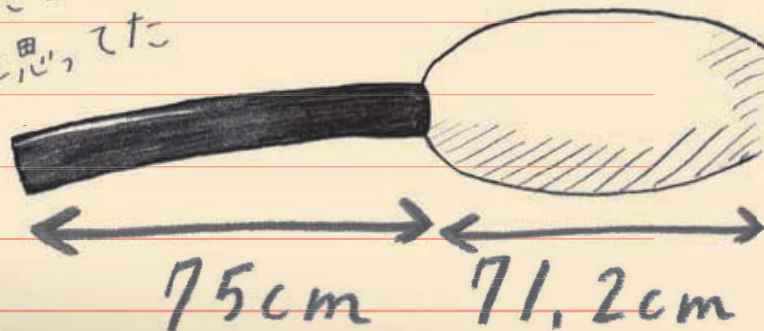


85cm

64cm



同じ大きさ
だと思ってた



75cm

71.2cm



彫刻を 学んで しま しま

彫刻が生まれる現場を見てみよう 彫刻の秘密に触れてみよう

北名古屋市には名古屋芸術大学があります。

名芸（メイゲイ）という愛称で親しまれ、学生たちが日々彫刻の制作に取り組んでいます。

市内に展示されている作品の多くもここで生まれているのです。

今日は特別授業に参加してみましよう。

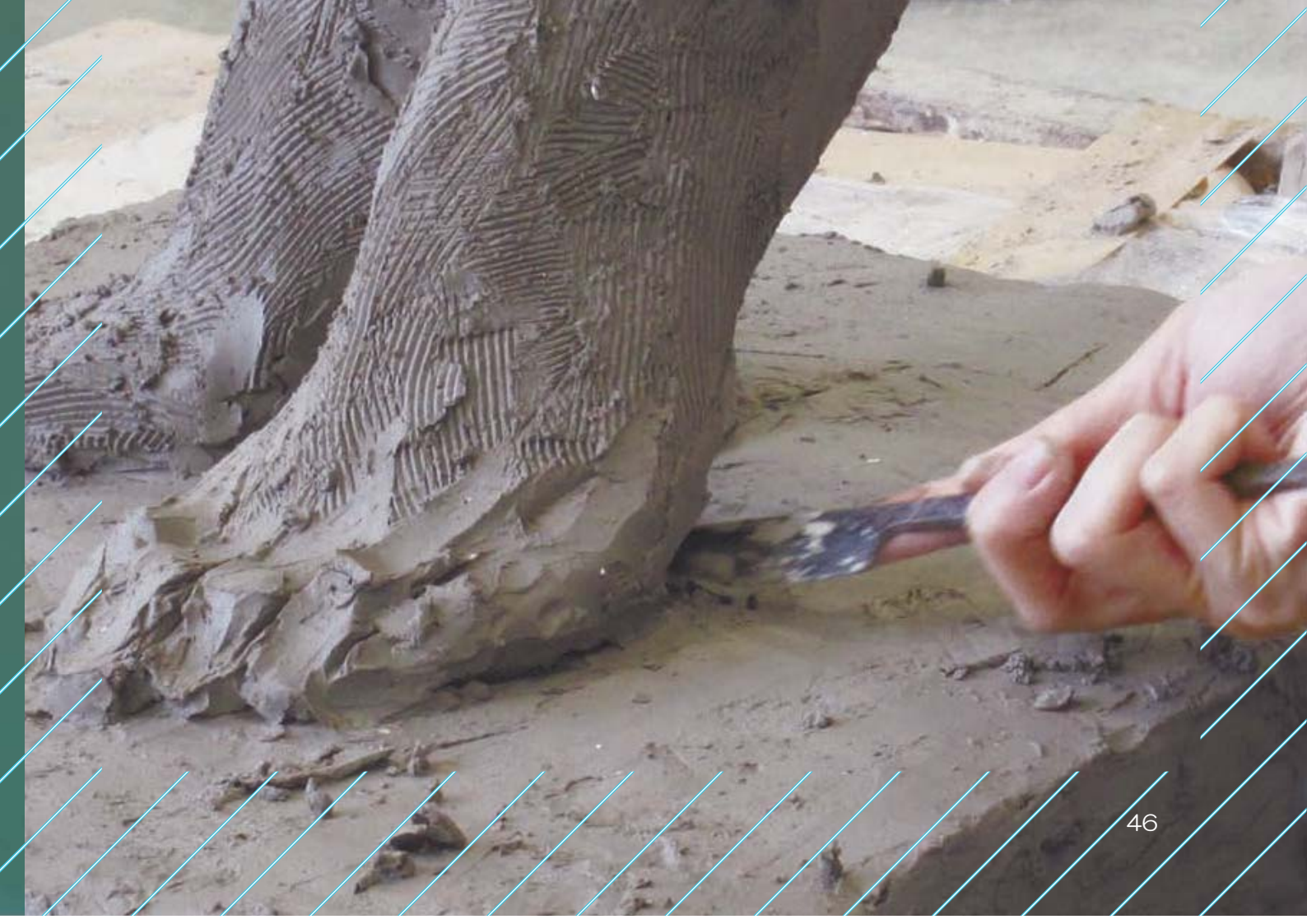
授業の内容は、「彫刻技法演習Ⅰ・Ⅱ」「彫刻心理学」「彫刻歴史特論」「彫刻素材論」。

彫刻家たちは「自分だけの形」を最終的に作品として作り上げるまでに構想を練り
デッサンをし、素材を選び、制作する技術の習得に長い時間を費やしています。

そこには彫刻家それぞれの考えや経験、ストーリーがこもっているのです。

いつもわたしたちが目にするのは完成した作品ですが、それまでに彫刻家たちがどのような方法で、
何を考えているのでしょうか。さらに彫刻の歴史や素材の秘密にも触れてみましょう。

このような彫刻家たちの「秘密」を知ることは、作品鑑賞の大きなヒントとなることでしょう。



0 限目 授業の前にQ&A

A.3：一番の理由は、彫刻的なものを学んだり表現するのに、裸が最も「自然の中の真実」を表現するのに非常に良いんです。彫刻として表現するのは、別に人体の裸じゃなくても、犬でも、服を着た人でも良いんだけど、覆うとその中の真実の美しさみたいなものが見えない。

A.4：彫刻を勉強する基本だから。なぜなら、コスチューム（着衣した人体）は難しいんだよね。コスチュームの場合、着衣の下の肉体を表現しなくてはいけないからね。その点、ヌードは直接見ることができる。そういう意味で、勉強のためにヌードをつくと僕は思っています。あとは、動物と違い、人間は言うことを聞いてくれる、ということもあるよね。

A.5：裸婦だから「特別なもの」ではなくて、風景画を描く人が山や木を眺めるように、生き物の一番「素な姿」として見ている。そこに「自然の形」「自然美」を見ている。作家それぞれの思いや感情などがそこに乗せられて表現されている。裸体の何に感動するかといえば、自然な強さ、女性の内面的な魅力に感動する。やはり男性の強さと女性の強さは違うから。しなやかであるのにどしとして、安定している内面的な芯の強さ。生き物としても女性の方が強いし、その強さに対する魅力を女性の姿を使って表現している。

Q & A

見て分からないことは聞いてみる。

大学で教鞭をとる彫刻家たちに、ふだん聞けない質問を率直にぶつけてみました。

Q.1 なぜ裸を作るのでしょうか？

A.1：人間をつくるということは、人間のかたちをつくるというだけではなくて、「人間性をつくる」ということだと思うんです。人間性をつくることにおいては、服を着ている方が人間性というものを表しやすい場合もありますが、人間が元々もっている根本的なものを表すためには、裸婦の方がより表しやすい、ということもあると思うんです。

A.2：自分が勉強してきた時代はそれがすべてだったんですよ。美術教育を受ける中でミロのヴィーナスなどたくさんの石膏像が美のお手本だったんですよ。そういったものを自然に受け入れていった。なかにはそういうことに疑問を持っていた作家もいたけれど、私はむしろそういったことに感動していた。

Q.3 人体彫刻とフィギュアの 違いは何ですか？

A.1：端的に言えば、フィギュアとか人形というのは人に似せるのが目的としていますよね、ところが彫刻っていうのはある意味では内的真実というか、自然の中からそういう真実だとか美だとかそういうものを発見して表現しようというところがあるのでそこが大きな違いなんじゃないかね。

A.2：自然という観点が違う。フィギュアは、精神的な形態ではなく欲望、願望のカタチ。誇張された異性への願望をライトにしたものだと思う。

A.3：フィギュアのコトはあまり知らないんですが、僕のイメージでは求められているものが違う。我々作家は具象抽象問わず、美というものを追求している。自分なりの美という物はこういうもんだと追求している。フィギュアというのはデザインに近いのかな。

A.4：私は同じだと思う。使われ方だったり、出口が違うだけでね。あと、海外ではフィギュアっていうのは綿々と受け継がれてきた伝統がある。練り物でつくられたものとか、彫られたものとかね。小さいのにすごく精巧にできてるし、ちゃんとフィギュアというのは歴史があるよ。

Q.2 抽象彫刻は何を 表現してるんですか？

A.1：真理とか真実とか、見えないけど隠れている内部の問題。でも日頃は外から学ぶ。夕日が良いなあとか、あの海の岩山との間の穴の空いたところが壮快だなあとか、新幹線がビューーっと走ってるあの川を渡っているスピード感はいいなあとか、日頃はそういうものに関心をもつ。ちっちゃな花が咲いてても、ものすごく大きな田んぼの中にひびが割れてそこにちっちゃな草が生えていても「わあ！すごい生命力だなあ」と感心したりとか。そういうふうに自分の中にどんどん蓄積や吸収されたものがあって、それが自分の中で攪拌（かくはん）されて、そしてその中に自分のイメージ、あるいは問題意識が生まれてくる。それが抽象作家の基本的な形になる。

A.2：僕がつくっているのは「環境」。(駅前
の作品を例にしてみると) これがあること
によって起きる、置いた場所の環境を
デザインするっていうのかな。最近は
そういう仕事をしてます。言い換えれ
ば、「必然性のある彫刻」かな。その
場にあるというね。

A.3：浅はかなつたない思いで素材をねじ伏せて、押し付けて作品を造るのでなく、
素材が自分の心の中を彫刻してくれるよ
うなかたちとして作品が生まれてくる。

Q.6

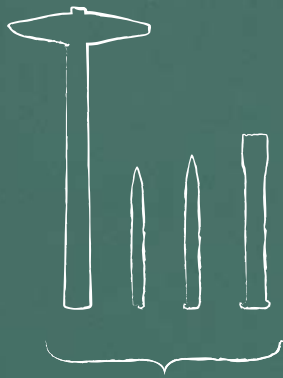
どんな道具で
作っていますか？

A.1：まずは手。それが基本。それから鉄ベラと木ベラ。木ベラは、その辺のきれっぱしで自分で作る。

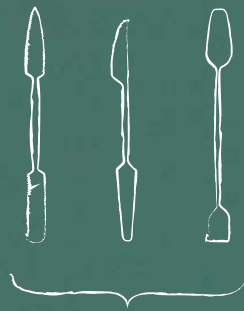
A.2：最近よく使っている鉄ベラは、粘土槽のなかで発見したもの。可哀想なんで手入れして使っていくうちに、だんだん良いヘラになってきた。

A.3：チェーンソーとノミだね。チェーンソーがなかったらできないだろうね。チェーンソーは電気式でドイツ製。トルクがあって、削り粉の排出がスムーズなのが良い。

A.4：鉄よりも硬い超合金のタンガロイのノミや、人工ダイヤモンドの工具などを使って削ったり彫ったりする。ノミの焼きを強くしたりして、ノミが石に吸い付くような感覚になるよう、自分で道具を調節する。



石彫で使う道具



塑像で使う道具

Q.4

ポーズにはどんな意味
があるのでしょうか？

A.1：つくりたい作品イメージにあったモデルさんにポーズをとってもらって、自分の作品イメージと合わせる。

A.2：僕の場合は意味は持たせない。ポーズをつくるのではなくて、もっと彫刻的なものをつくりたい。

A.3：ポーズやタイトルには、作品のテーマが反映されています。そうすることでより良く伝わると私は考えます。

Q.5

作品1点を作るのに
どれくらい
時間がかかりますか？

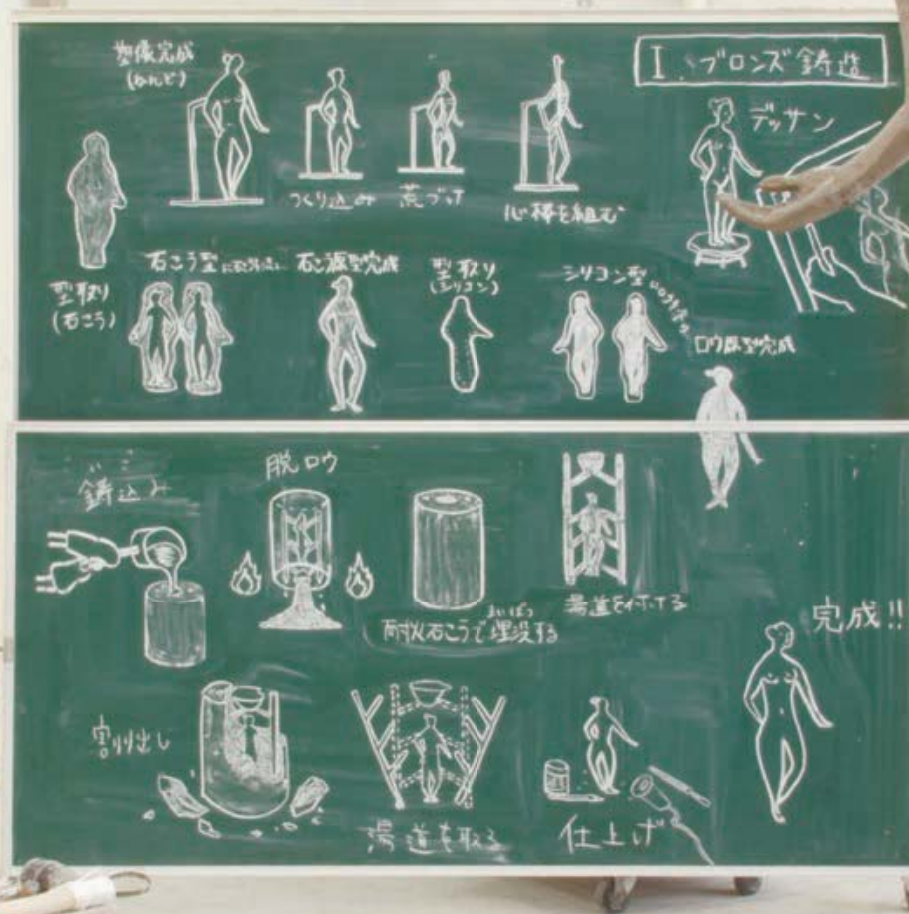
A.1：漆を使うものだと1日でできる作業が限られているから、小さなものでも1ヶ月以上かかるし、大きい作品だと3ヶ月か4ヶ月かかる。

A.2：発表する機会がなければ、ずっと作り続けています。3年間くらい作り続けている作品もあります。

A.3：モニュメントの場合、設置する半年前くらいに話が来て、実際に制作する期間は3ヶ月くらいですね。

A.4：人体塑像は、粘土の仕事で2ヶ月か3ヶ月かけるかな。それから型取りして、4ヶ月くらい必要かな。

1 限目 彫刻技法演習 I・II



粘土で作られた塑像は保存が出来ないため、
ブロンズなど安定した素材に置き換える。
その過程は型取りの繰り返しを経て
ブロンズ鑄造にいたる。



自然素材である石彫は
石探しとその特徴をつかむことが大きなウェイトをしめる。
ミケランジェロも、イサム・ノグチも石との出会いが
作品に大きな影響を与えた。

彫刻作品は彫刻家の考えや思いが
物質をともなって形になったものである。
その考えや思いには作品のスタイルは違っていても
多くの共通点を見つけることができる。

2 限目 彫刻心理学



モデルを見て、「美しいもの」を発見する。
全体の関係の中から空間の中に形を決める。
見て作ることから彫刻の本質をつかむ。

萩原 清作（彫刻家 名古屋芸術大学 准教授）



彫刻家の心理と表現

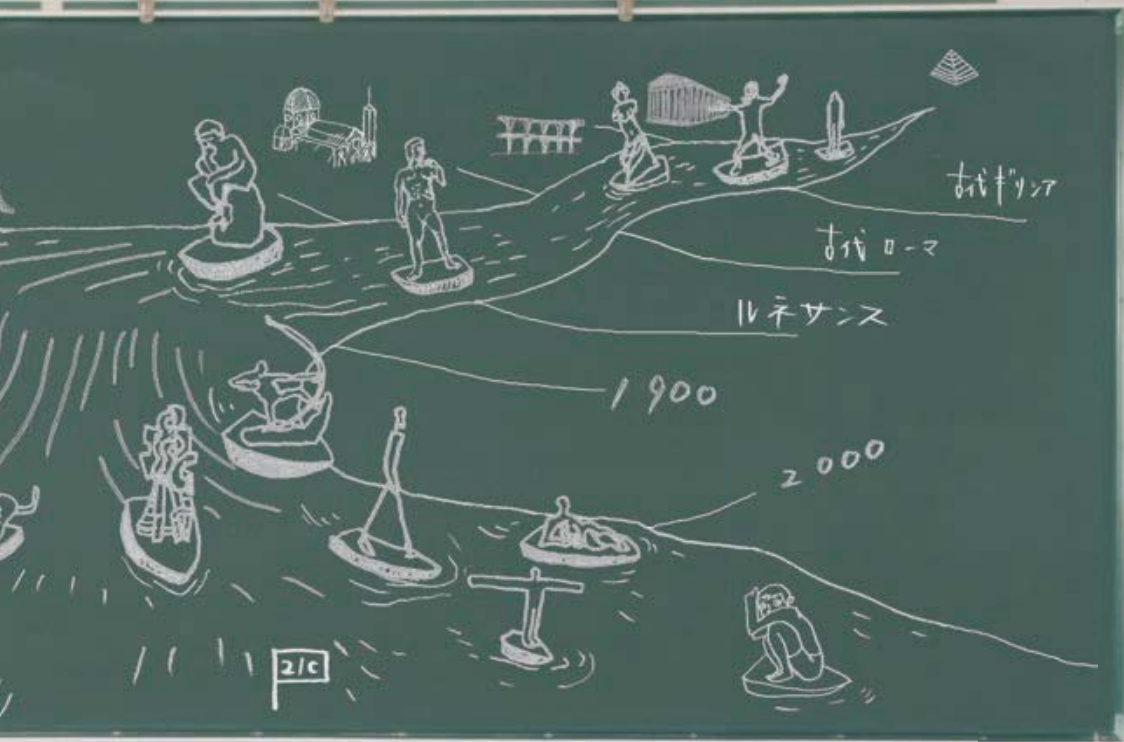


自分の思考や心の中の思いから
イメージを見つけ、形や空間を与える。
内側から外側へ向けての造形をする。

庄司 達（彫刻家 名古屋芸術大学 名誉教授）

彫刻の様式の変化をたどると19世紀末のロダンの登場以降大きく変化した。その後ロダンに影響を受けたブランクーシの抽象表現が大きな流れを作り、さらなる新しい表現を生み出した。

3 限目 彫刻歴史特論



芸術とは、古来から一貫して、「見たものを表現するのではなく、見えないものを見るようにすること」(パウル・クレー)でありました。

栗田秀法 (名古屋芸術大学 准教授)



彫刻の幸せとは、移り変わる風景や人間の
時間を孕んで、街に息づいていくこと。
街の魅力とは、オリジナルなものが発する力です。

高橋綾子（名古屋芸術大学 准教授）

多くの彫刻は彫刻家が手で触れながら制作をするため、彫刻家の素材へのこだわりは強くなり、素材と彫刻家の関係は密接となる。

4 限目 彫刻素材論

素材

作品

青銅【せいどう・ブロンズ / bronze】

鉄よりも古くから使われてきた銅とやわらかく融点が高い錫との合金。紀元前3000年頃、初期のメソポタミア文明であるシュメール文明で発明された。色は銅と錫との割合によって、赤銅色、黄金色、白銀色に変化する。青銅色とは、大気中の炭酸ガスと銅が長期間反応し酸化することでできる緑青の色である。ブロンズ像の場合、多くはアンモニア塗布などの方法で酸化皮膜を形成して青銅色から褐色、黒などに着色される事が多いが、ブランクシーのように磨き上げて黄金色の金属光沢の仕上げをする彫刻家もいる。



ステンレス【stainless steel】

「さびない、さびにくい鉄」という意味である。鉄鋼でありながらさびにくく光沢を保つのは、含まれるクロムが空気中の酸素と結合して薄く強い保護皮膜を形成するからで、たとえ傷ついてもすぐに再生しさびを防ぐ。一般的に多く使われているステンレスは、クロム18%+ニッケル8%+鉄74%と鉄の割合が少ないため磁石にはつかない。1912年頃にさびない鉄を求め、さまざまな合金を試作するなかでドイツ、イギリス、アメリカでほぼ同じ時期に発明されたが、イギリスのブレリアンがいち早くその特徴を見抜き、食卓用のナイフを試作し“Stainless Steel”の愛称をつけ特許を取った。



花崗岩【かこうがん / granite】

石材としての御影石という呼び名は、神戸市の六甲山の花崗岩が御影浜から日本各地に出荷されていたことに由来するが、現在は各地の花崗岩をはじめ閃緑岩、斑れい岩なども御影石と呼ぶ。固く緻密なので表面を研磨して光沢を出すことが可能である一方、石段や敷石などの場合は、研磨せずこつこつした表面とするものもある。高い強度と滑りやすさを要求されるカーリングの公式競技用ストーンも花崗岩だが、すべてアルサクレグ島（スコットランド）産である。地球上ではごくありふれているが、形成の過程で水の関与が必要なため太陽系の他の天体にはほとんど見出されない。



大理石【だいいりせき / marble】

石灰岩の石材としての一般的な呼び名である。古代より建築に使われ、古代ギリシアのパルテノン神殿、ローマのコロッセオ、インドのタージ・マハルなどが有名である。現在でも建築の内装に多く使用されている。「大理石」という名称は、かつての大理国（現在の中華人民共和国雲南省大理府）で産出されたことに由来し、「マーブル模様」とは大理石の特徴的な模様や色ムラに由来する。彫刻ではミケランジェロが大理石の産地のカラーラを何度も訪れ多くの作品を残した。カラーラでの大理石の採掘は2000年の歴史を有し、ルネッサンスの芸術の発展を支えてきた。

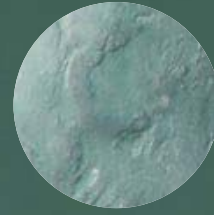


身近な物では

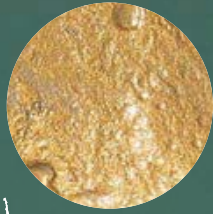
作品の表面



十円硬貨



緑青仕上げ



塗装

おはぐる仕上げ



スプーン

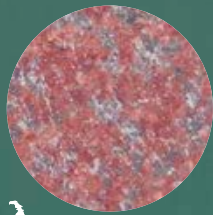


塗装

無塗装



表札



花崗岩の磨き



建築材



花崗岩の割れ肌

大理石の磨き

きいて みたよ!

歴史を意識して彫刻を作る

どういう時にハダカの人を作るの？

神戸…人をより端的に表現したい時に裸婦を作ります。裸婦は、装飾がない状態で

す。服を着たり、

物を持ったりすることで、その人が本来持っているもの以上のいろんな装飾や形容が入ってることがあります。強化されるというのかな。例えば、スーツを着ていた



神戸 峰男
かんべ みねお

彫刻家
名古屋芸術大学 教授
主に塑像で作品を制作している。

方がなんとなく紳士に見えることがありません。でも中身は一緒ですよ。その見極めです。本来のものを見透かす力というのはそういうものではないと私は思っています。だから、具象彫刻の場合、裸婦こそ最も純粹な表現方法だろうと感じています。

作品を作る時にたいじにしているトコロは？

神戸…「感情が私たちを表現する」のではなく、「かたちが感情を表現する」と私は思っているんです。人間の五体の中で感情を最も表現しやすいもののひとつに「手」があります。手は、開く、握るなどいろんなことができますが、これは感情表現として、大切な要素です。だから、あえて作り込む場合もありますし、逆にあえて作らない場合も、省略させる場合もあるんですよ。それを見てもらうことで、作品が何を表現したいかを感じ取ってもらいたいです。

作品を作るときに気をつけているコトは？

神戸…彫刻というのは恒久的な材料を使います。石であったり、ブロンズであったり、焼物だったりね。それを一度つくると、数百年、ひよっとすると数千年もってしまふんです。だから、作る側はその歴史を意識して、作らないといけないと思います。

勉強になります！

自分に忠実に作っていく

「じんたいちょうごん」
を作るオモシロさって？

三枝…作る時にこういうものが作りたいというのがある時と、モデルさんがいてそこから何か作り出そうとする時と二通りあるんですよ。作りたいものがある時は、モデルさんがいてもいなくても形が鮮明に見えて、気持ちよく作れる。どちらにしても、作り上げた時にはなんともいえないやり遂げた感覚があります。ところが面白いことにその時はそうなんだけど一ヶ月後には、大抵なんでもんな風にしかできなかつたのかと、がくつとなる。その繰り返しですね。でも、自分に忠実に作っていききたいね。インスピレーションというか、思いついたことを自分のやり方で納得して作れればと思っています。

三枝 優
さいぐさ まさる

彫刻家
名古屋芸術大学 教授
主に塑像で作品を制作している。





インタビュー
遊ちゃん

作っていてオモシロイところは？

三枝：僕が一番好きなのは「へびびる」。そこだけは自信をもっているんです。あとは「おしり」。人間の持つてる一番美しいものではないかと思えます。

「へびしょうちゅうごころ」にこだわった理由は？

三枝：やっぱり僕は人間の体の形自体が一番いろんなものを内包していると思う。自分が人間だからそう思うんだろうね。ただこれをどこまで形にしているのかは気の遠くなるような話。だから続けられてるんじゃないかな。

えいきょうをうけた「あーていすと」は？

三枝：やっぱりロタン。自分では出来ないからね。ただ自分の作品の作り方からすると、デスピオにも影響を受けた。華々しくなくて、モデルを雇うにも苦労したような人なんだけど、いいんですよ。共感するところがあるんです。

チェックしなきゃ！



インタビュー
愛ちゃん

モデルさんと一緒に作る

はだかの人を見てはさすがに嫌いな？

萩原：はじめて裸を見たときは、まともにみれなかったけど、三〇年

くらい裸と向き合っ

てるんで、恥ずかしさは

ないですね。発見する対象みたいな感じかな。

作品を作るときにこだわりの？

萩原：私はモデルさんが居ないと作品をつくれないうし、モデルさんが居ない時は作品に手を入れない。せっかく感動してつくったものが、手を入れることでなくなってしまうから。言うなれば、モデルさんと一緒に進んでいく感じだね。



萩原 清作
はぎわら せいさく

彫刻家
名古屋芸術大学 准教授
主に塑像で作品を制作している。

「じんたいちゅうごころ」を作るってどういうコトなんですか？

萩原：人体彫刻を作るといいうのは具象的要素と抽象的要素を同時に作っていくこと。要素を取り出せばいわゆる抽象作品になります。でも、見ているものは結局同時なんです。ある意味では、具象的な要素を支えているのは抽象的な要素なのです。人間をつくるにはそれを同時にやらないとできない。力だとか面だとか関係だとか色々な彫刻の要素はあるけれど、それらを見つつ、表面的な皮膚の感じだとか生命の感じだとかそういう色々なものも同時に作るのが人体彫刻なんです。

えいきょうをうけた「あーていすと」はダレですか？

萩原：私は高校の頃、ロタンの本を読んで彫刻に進んだんです。だからロタンかな。それから、高校三年の時にロタン展を見に行ったらフルデルの作品もあって『これはすごい！』と思ってフルデルにも非常に傾倒した。武蔵野美術大学の先生がフルデルの弟子だったから僕はその大学に行くことに決めました。

ナルホド。





中身を作らないと意味がない

「もくちょう」のたいへんなトコロは？

岩井：木を寝かせておかないといけないことかな。一センチの厚さを乾かすのに一年かかるから、一〇センチで一〇年最低でもかかる。二五年〜三〇年前に買っておいた木材が、ようやく使い時になってきた。



岩井 義尚
いらい よしなお

彫刻家
名古屋芸術大学 教授
主に木彫で作品を制作している。

作品を作っていて、むしろかたいところは、

岩井：まず「モノ」というのは球体である」という考えが私にはあって、球体のつながり、大小関係で全部できていると思ってる。でも、油断するとどうしても「写すこと」に気を取られちゃってね。似るは似るんだけど、ただ似るだけで中身はどっかいてちゃってる。中身をつくらないと意味がないから

いからね。そうすることができたら、「作品」になる。

「遊・Ⅲ」は、どうやって作ったの？

岩井：スタートは、自分の子どもができたこと。その時に写真を撮っておいたのね、それを使って動きとか組み合わせで構成したかった。それで、設置場所を聞いた段階から、子どもが遊んでいる姿がいいと考えたね。一ヶ月でクロッキー帳一冊分くらい描いて構想を練って。石膏直付けで、中に鉄芯や発泡スチロールをいれて、ブロンズで型取りして完成、という感じ。

「もくちょう」を作るときのこだわりは？

岩井：表面をザラザラとしたノミの跡が残るくらいにしておきたい。手触り感とかね。私は高村光雲が好きなんですけど、最終的にはああいう作品をつくりたいと思ってる。

シブいですね。



あくまで人を表現していく

作品を作る「だいいきみ」ってなんですか？

鈴木：どれだけ作っても納得いくものが作れないってこと。作り終わって直後は『サイコ〜！』って思うけど、次の瞬間『何だこれ？』って感じ。少しでも自分が表現したいものに近づいたかなって思ったら裏切られて、それでまた作る。その繰り返しかな。



鈴木 琢磨
すずき たくま

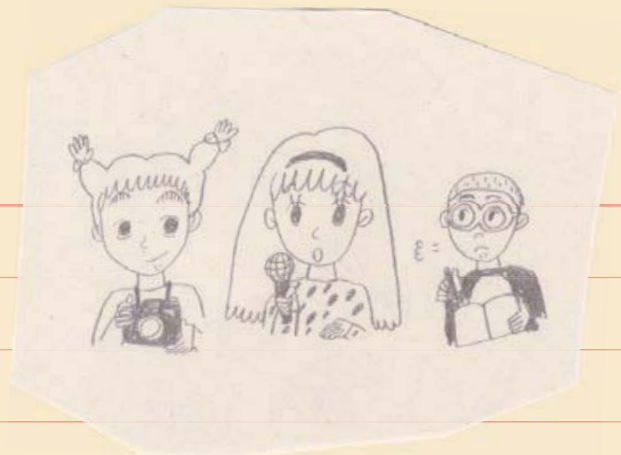
彫刻家
名古屋芸術大学 非常勤講師
主に塑像や乾漆で作品を制作している。

作品を作るのに大変なことって？

鈴木：彫刻は持久力の仕事なので、いかに自分が表現したいと思った作品のイメージや感動を、仕上げるまで持ち続けられるかが大変。

じゃあ、作品を作るときのこだわりは？

鈴木：あくまでも人を表現していくっていうこと。人を表現するのに、いろんな手段がある。そこがこだわり。いろんなフィールドでやるので、人間を表現したいけど人間の形態ではないと判断して猫を使ったりとかもする。



ネコだけど人？

鈴木：そう。猫のカタチだけど、人を表現するのに猫を使うっていう感じ。だから、『猫じゃないね』って言われると、嬉しいんだよね。

えいきょうをうけた「あーていすと」は？

鈴木：具象彫刻をやるきっかけとなったのは、佐藤忠良。あの人がつくる女性の凛とした感じとか、洗練された感じは魅力的。「なぜシーパンにヌードなの？」とかね。でも、それがなぜか自然に見えてくる。あの意味、不自然なところがいっぱいあるんだけど、それが美しく見える。

そうなんだ。

内側から出てくる

作品ってどうやって作るの？

庄司：僕が学んだ学校は具象彫刻をつくるためではなくて、自分の好きなものを作る、どちらかというと抽象彫刻系の作家を育てる学校だったんです。だから自分の形を選び出すところから始めてね。具象の人は外側の形を学ぶわけ。その中でさ

庄司 達
しょうじ さとる

彫刻家
名古屋芸術大学 名誉教授
主に布を用いた作品を制作している。

らに女性とか男性とか犬とか生命体に敬意を表して、それをモデルにしている。段々と作っているうちに自分の作りたい形態とか生命感とか表情とかいうものを作品に与えて、それでモデルとは少し違う表現になっていく。

僕の場合は内側から出てくる、作る時はね。でも、日頃は外側の世界を学んでいます。そういうことを人一倍しなきゃいけない。そういうことをしないと、自分の中に「たまっていかない」からね。

「たまったら」それをカタチにする？

庄司：その通り。でも、内側がいい加減なのに制作をしちゃうと、表面的な面白さで終わっちゃう場合がある。それだと、人の心は打ちませんよね。

きたなごや市にあるような、外に長いあいだおかれる作品を作ったことってありますか？

庄司：僕は布の造形作家としてデビューしたんだけど、ヨーロッパの石彫シンポジウムに参加したことがある。グループ制作なので皆で議論して、あるプランにたどりついた。それは三〇〇メートルに及ぶ一本の溝を岩盤に掘るといふ作品になった。いわゆるアースワークだね。

見に行きたい！

音楽を聴くように彫刻を見る

「ちゅうしょうちょうこく」ってどうやって見たらいいのか分からないんですケド……

櫻井 壽人
さくらい ひさと

彫刻家
名古屋芸術大学 非常勤講師
主に石彫で作品を制作している。

櫻井：素直に見るとい

うか、そのまま受け取るということだと思っただけで、例えば、音楽で言



い換えると、いろんな音楽がありますよね。ジャズもあれば、ロックもあって、童謡もある。それって、考えないで耳で感じるじゃないですか。だから、それを目でやればいいと思っただけです。それは具象も一緒。



作品で石をつかうワケは？

櫻井：これは相性だと思っんですわ。ピタッと合ったというか…。大学の時に、石の授業があった、その時に『これしかない』って思っって。それ以来、石ばっかり。硬いのが良いんだよね。

スキな石ってあるんですか？

櫻井：僕は、花崗岩かな。「割り」の仕事をやってるから。花崗岩は、割れる石なんですよ。

石を見て産地がわかるものですか？

櫻井：だいたい分かります。国産の石材だと、どこの地域のものかは分かります。

プロフェッショナルも。じゃあ、えいきょうをうけた「あーていすと」はタレですか？

櫻井：僕、三〇歳ぐらいを境にガラッと作品が変わったんですよ。昔は、有機的で柔らかい形をつくって、ヘンリー・ムーアとかが好きだった。でも、一度大げがして入院してね。その時に、この先どうしようか、ということを考えて。イサム・ノグチの作品に影響を受けて、今のような作品をつくるようになったんですよ。

いびいびあったんですね。

作るところはみんな一緒

どうやって作品をかんがえているの？

絹谷：インスピレーションの源は旅。頭の中にあるアイデアを、旅

絹谷 幸太
きぬたに こうた

彫刻家
名古屋芸術大学 非常勤講師
主に石彫で作品を制作している。

の中で整理して、様々な断片をつなげていきます。

作品を作るときまじこがけている「ト」は？

絹谷：「石がかわいそうにならないように」ということを心がけています。やはり、石が生きてきた時間というのは若い石でも数千万年から一億年ですから。それにわずかな十年の若造が挑むわけですからね。石が気分を書きえないようにしたい。最近石から学ぶことは、「謙虚さ」ですね。



じゃあ、なんで「ちゅうしょうちょうじん」じゃないといけないんですか？

絹谷：「くわんじつ」は、具象彫刻も抽象彫刻も、絵画も映画も、すべて一緒だと思います。いまは抽象的な形を制作しています。でも、抽象の方が「自分にとって自然」というか。具象彫刻よりも、もっと作りたい、知りたい形があって、その想いが強いからなんですよね。

えいきょうをうけた「あーていすと」は？

絹谷：柳原義達先生です。僕が彫刻を志すキッカケになったのは、柳原先生との出会ったんです。一宮市博物館の中庭に作品が展示されていますよ。実際に指導を受けたのはお弟子さんの土谷武先生。大変厳しい先生だったんですけども、自分が今日あるのも先生方のおかげだなと思っって、大変感謝しています。

かんしゅは大事ですよ。



彫刻を

見てしまひま

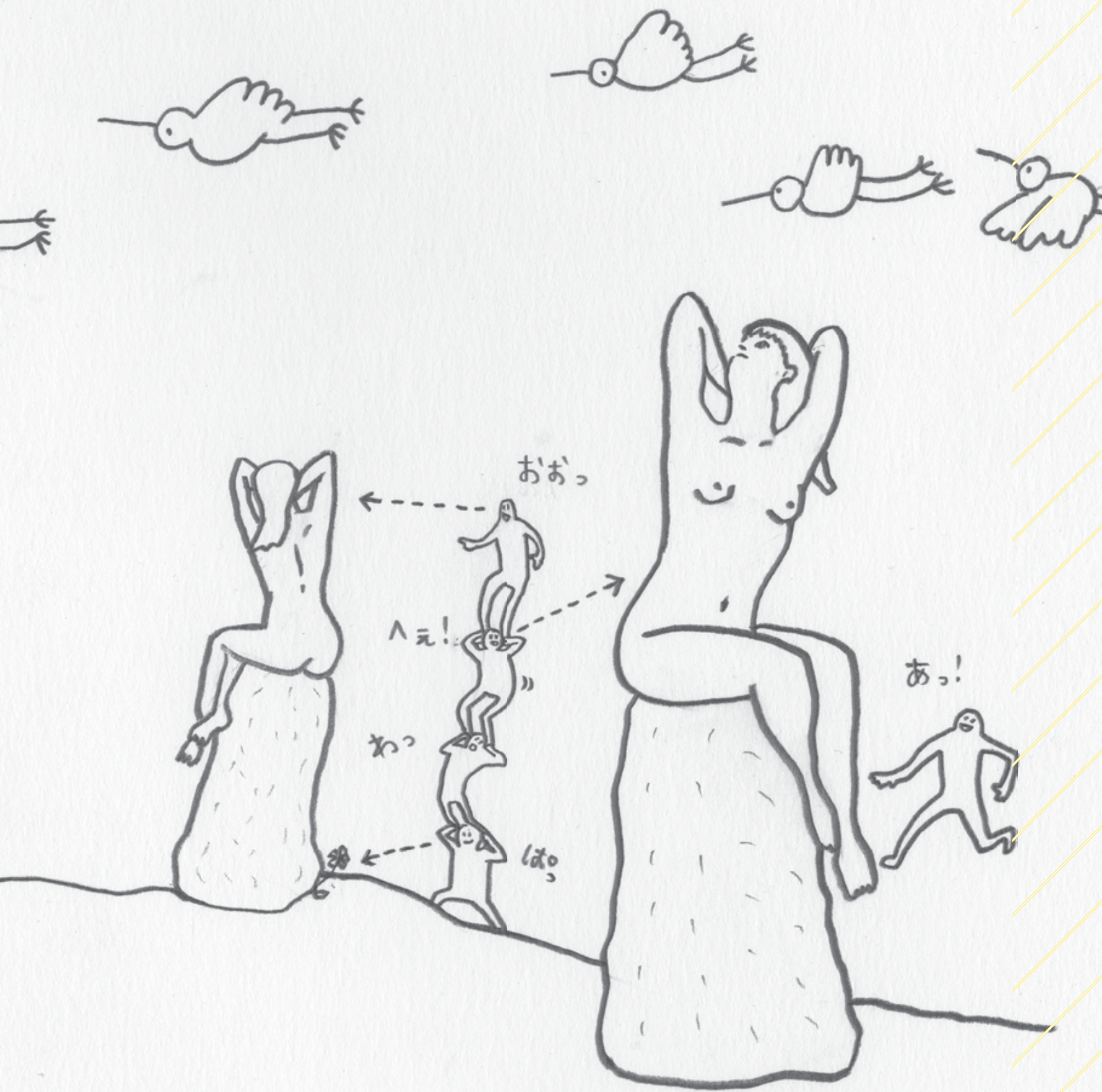
さあ、街に出て彫刻を見てみましょう

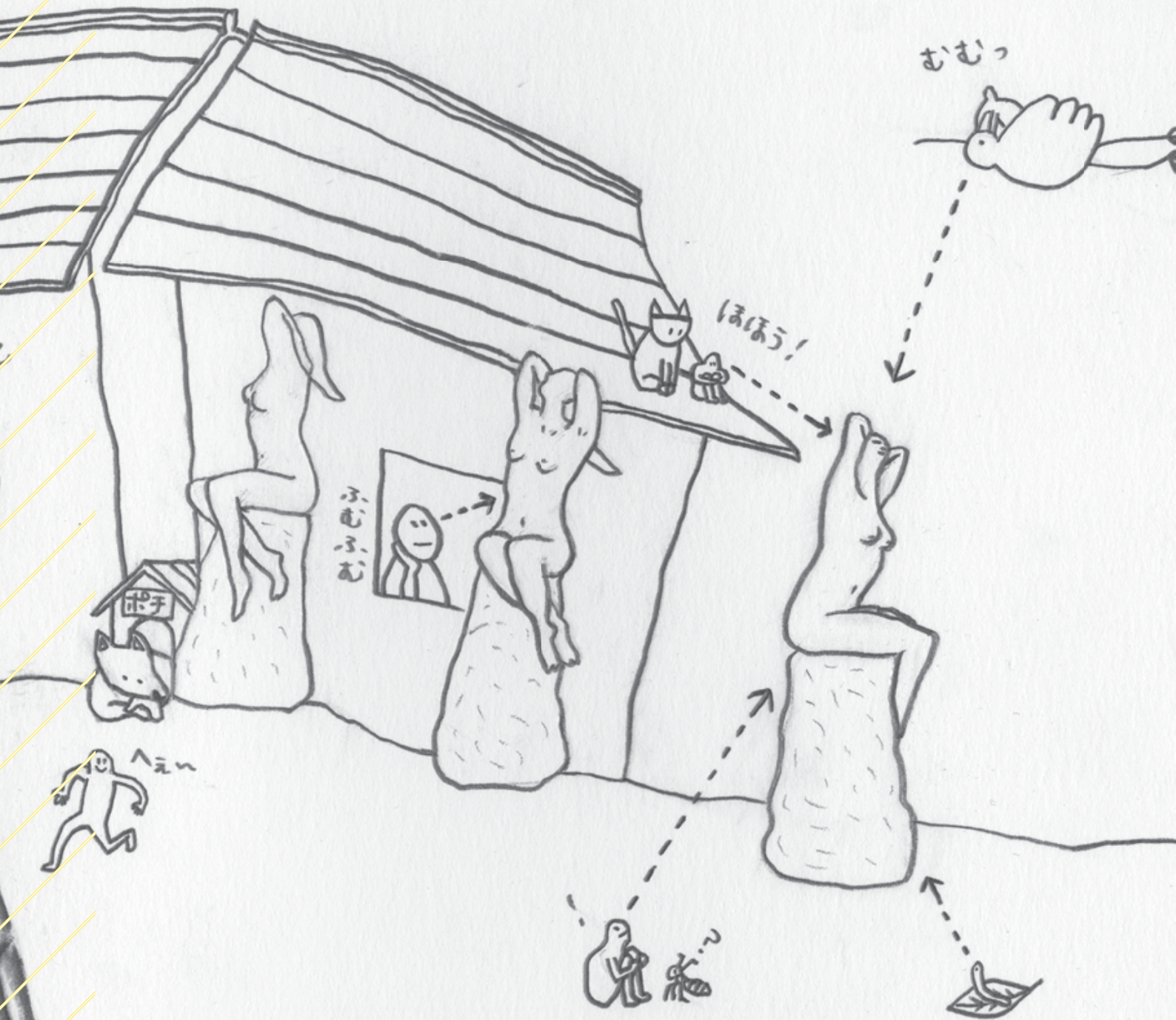
彫刻は彫刻家の「考えや感動」の結晶です。

あなたも彫刻を見て自分だけの考えを作ってみてください。

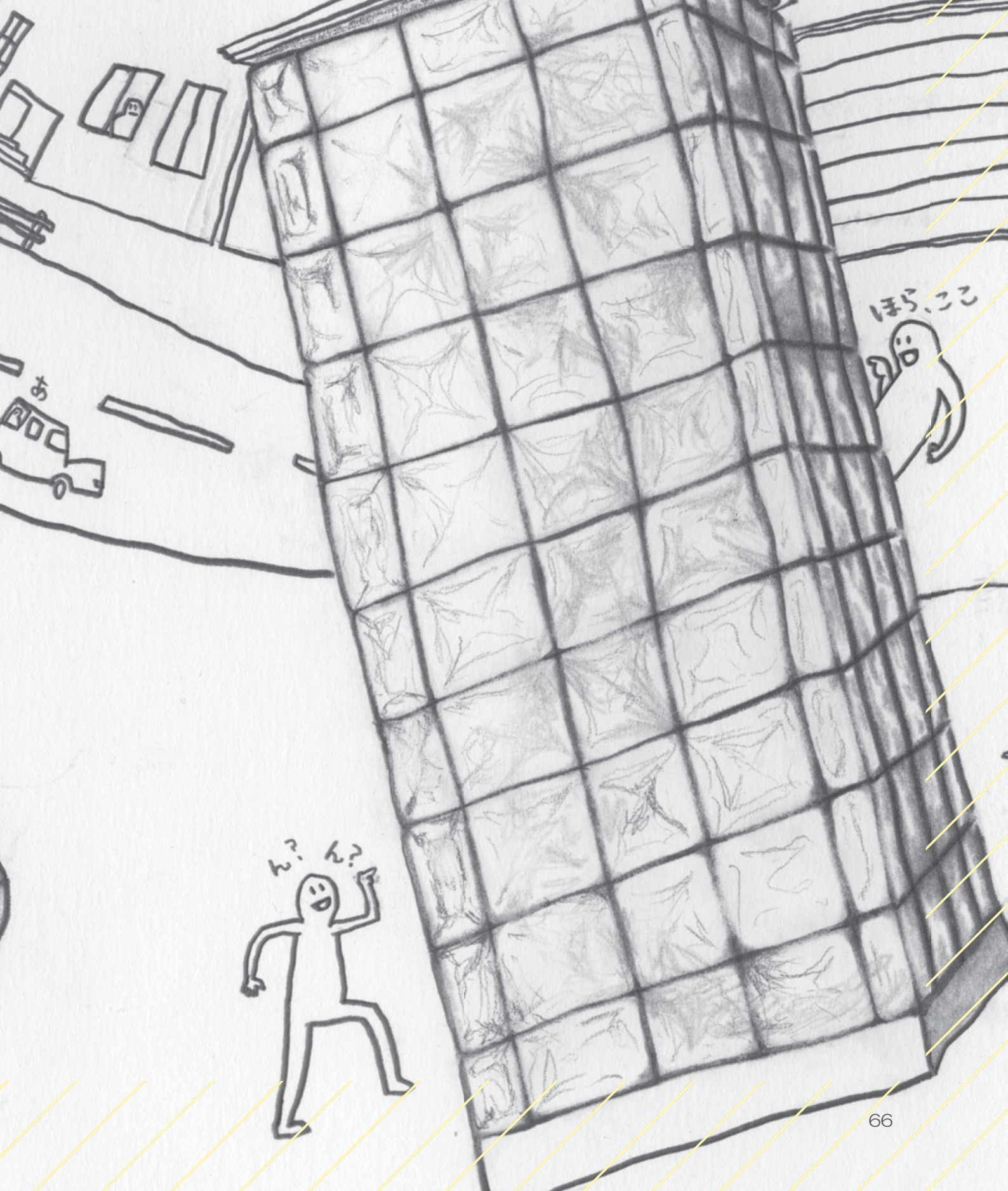
そしてそれを彫刻家の結晶と交換してみましょう。

美術鑑賞とは、作家とあなたとが「考えや感動」を交換すること。受け取ったもののすぐに理解出来ないこともあります。そんなときは心のどこかにそっとしまっておいて欲しいのです。なぜなら、あなたが何かに感動したときに、それが突然鮮やかに浮かび上がってくるからです。あなたの感動がずっと前に交換した彫刻家の感動とつながりより鮮やかになるならば、その彫刻が日常の生活に彩りを与えてくれたということなのではないでしょうか。





いいなぐめた

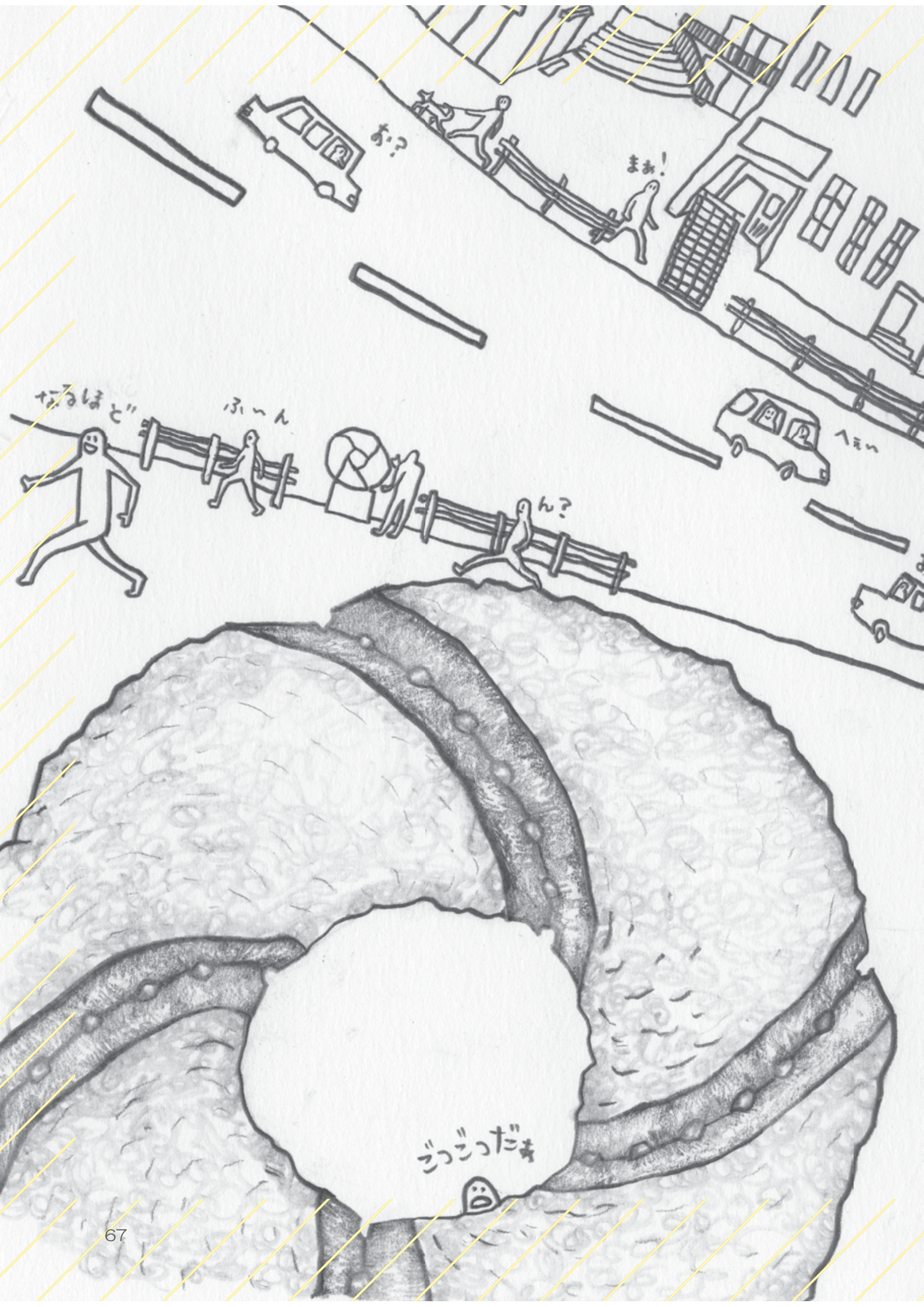


ほら、ここ



ん？ ん？





あ?

まあ!

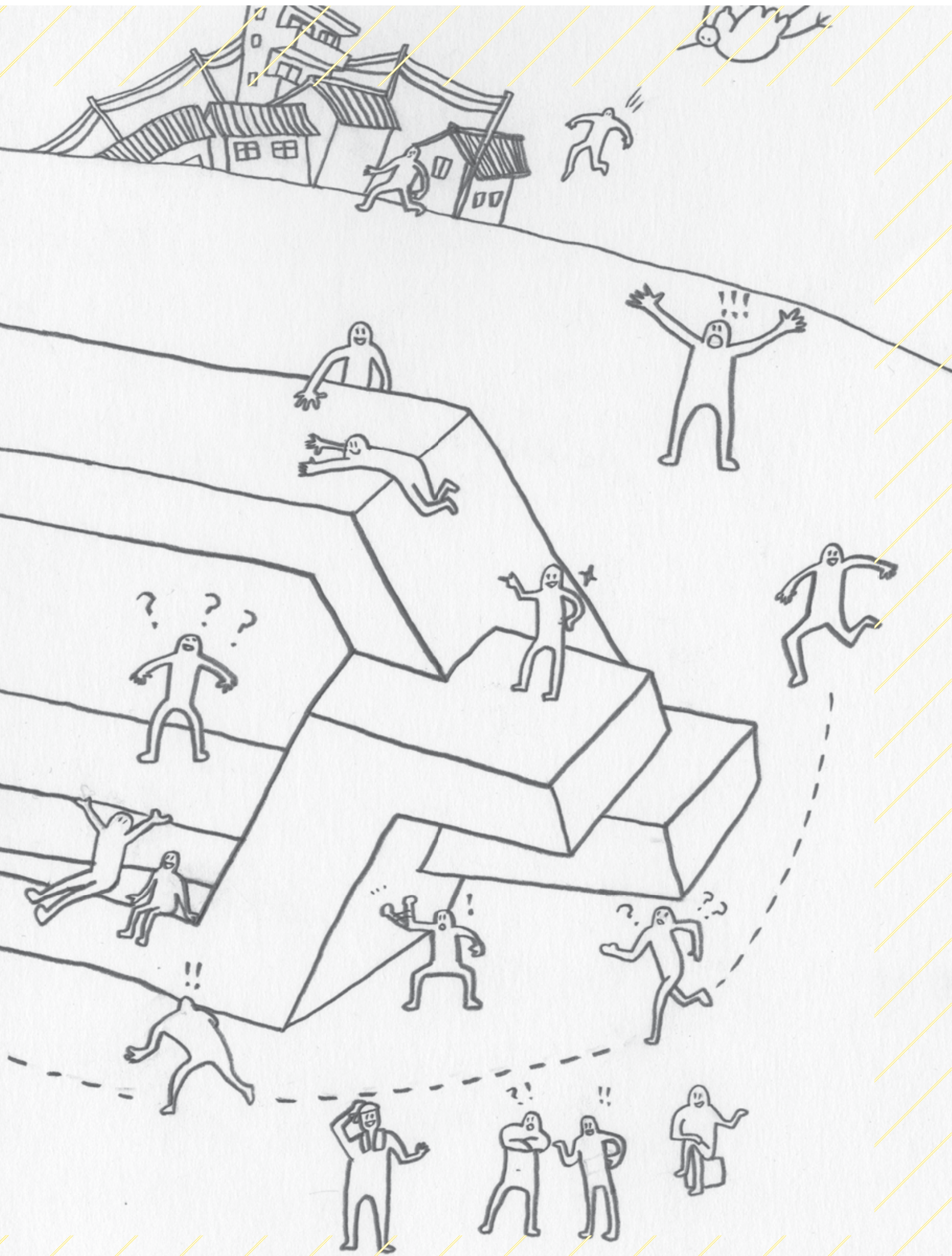
なるほど

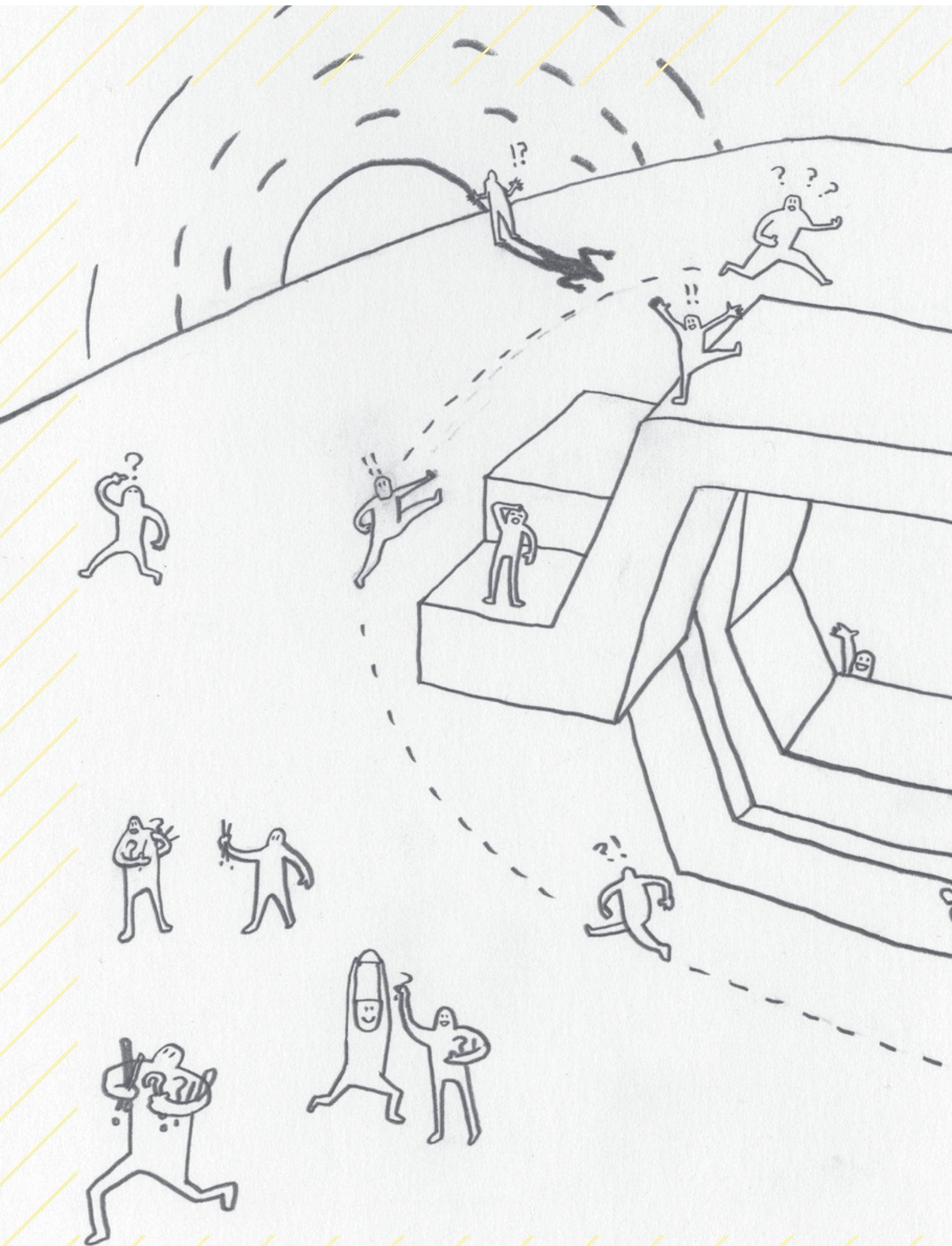
ふん

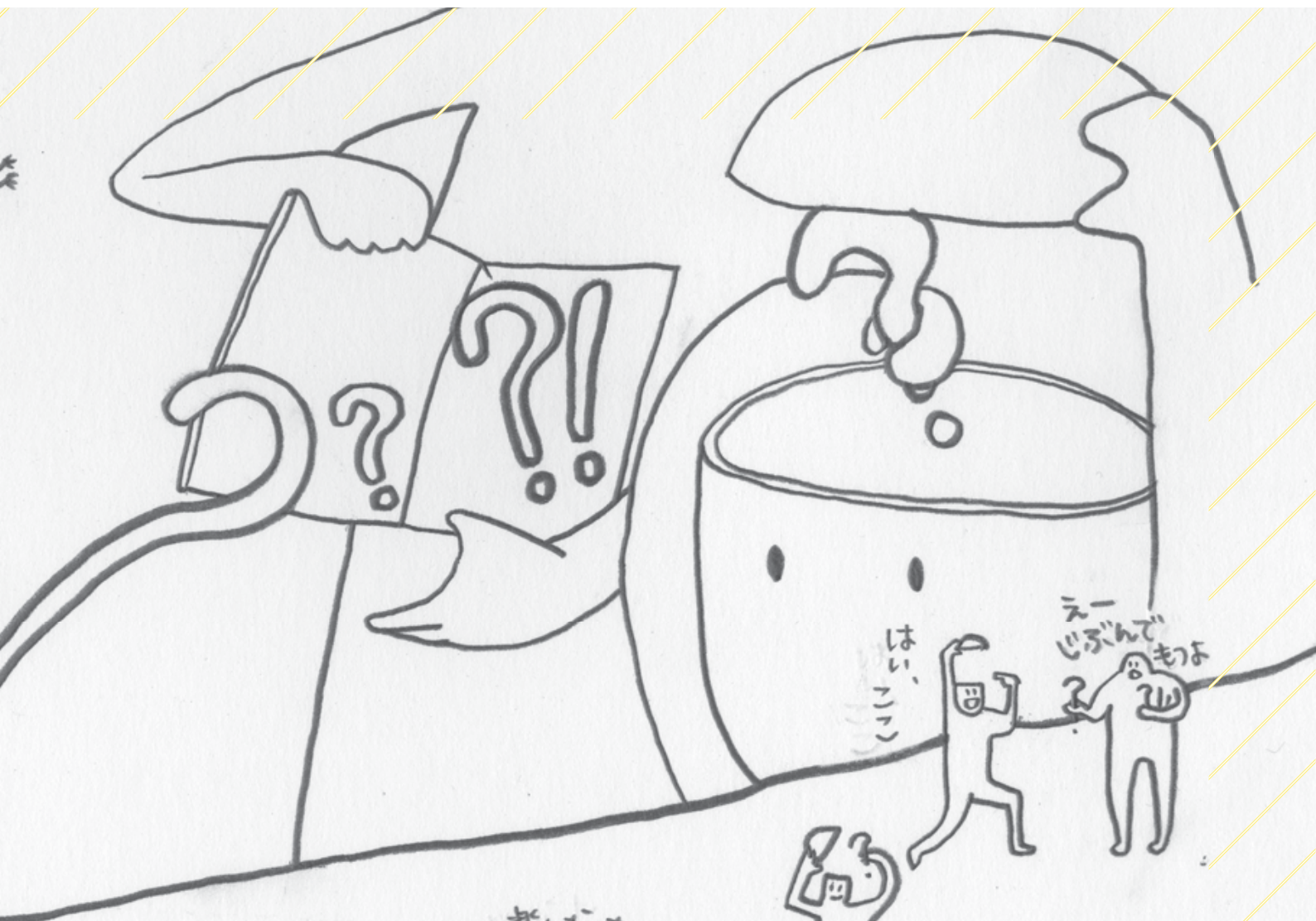
ん?

へん

うっただき







あー楽しかった。



おながしかったー



さー仕事だ



いっよー

ネ!



こんだ

ホーラ!

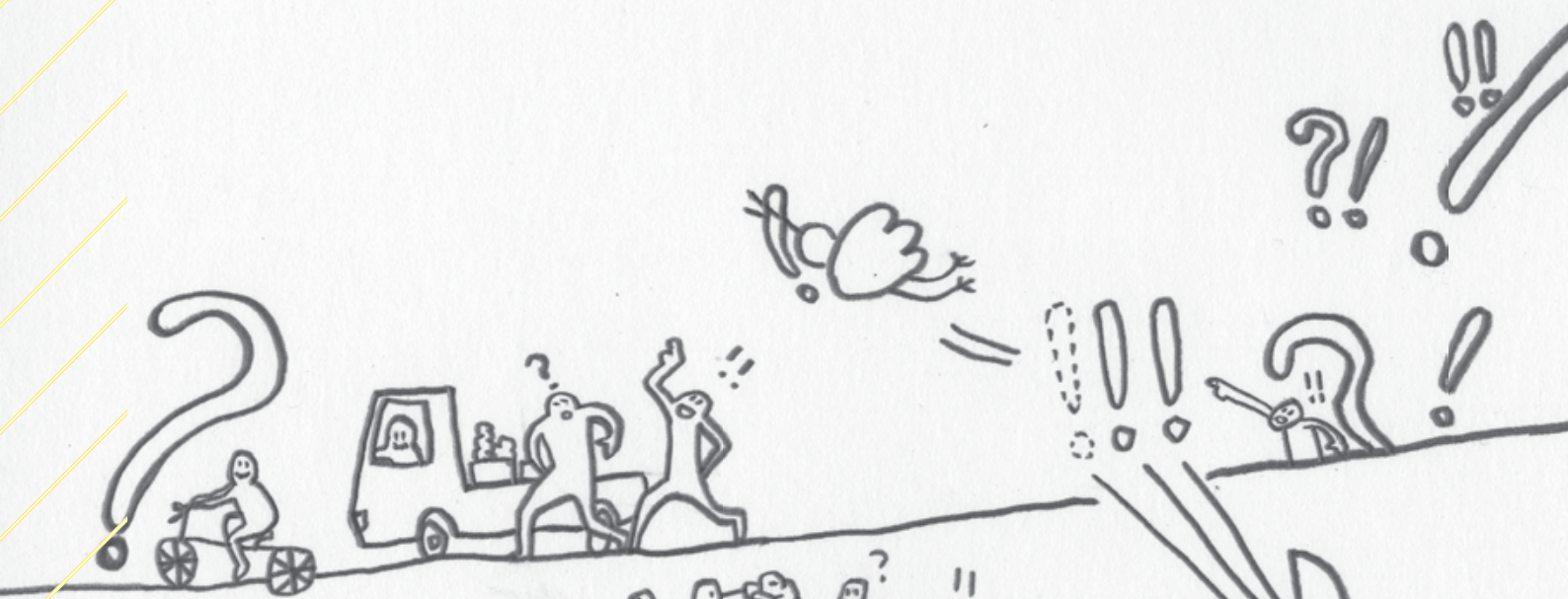


たくさんみつけたぞ



おとしたよ











7:40

わたしたちが学校に行ってるときや
寝てるときって
ちょうこくはどうしてるのかな？



そうだね

ちょうこくの1日って？



ジョギングしてるときに
夜はまたちがった見たことあるわー
見えかただ





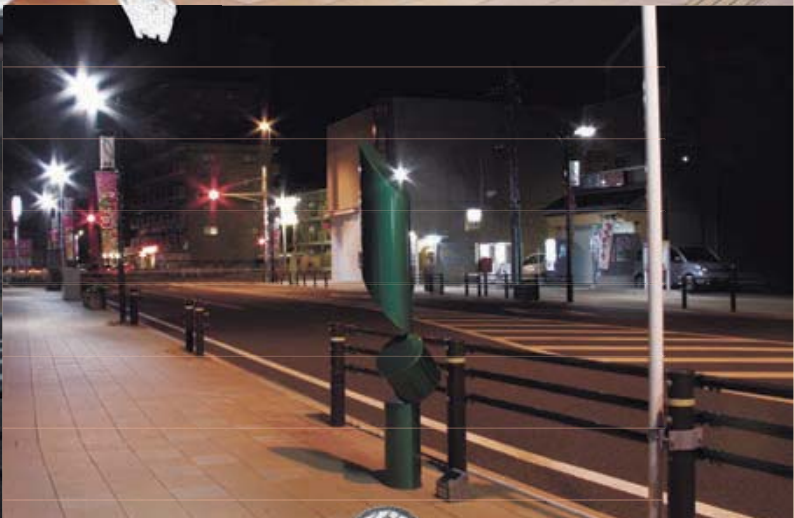
やっと朝だ"あ



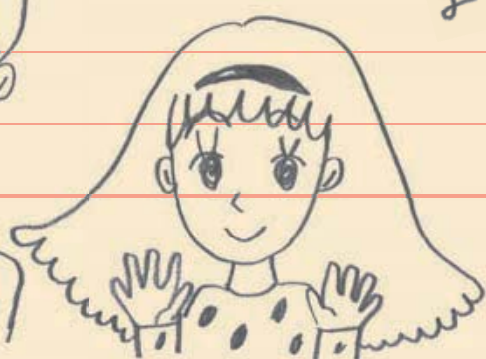
あ! 電気消えた!



馬主輪場も開まるんだ"



みんなも探してみてねー
またねー



さあ、街に出て彫刻を見てみましょう

扉を開けて、右へ左へ前へと伸びる道。

今日は彫刻に向かって歩いてみませんか？

そしてもうひとつふたつと見てみませんか？

しかし、一度に全部の彫刻を見てしまわないでください。目的が彫刻を見て歩くだけにならないでほしいのです。

彫刻を巡りながら、彫刻と彫刻の間にも楽しみを見つけましょう。

「彫刻を見る目」を持ったあなたには、

あの木や建築、田畑や空もいつもとは違って見えるはずですよ。

彫刻

と

しましま







あとがき

2012年9月の初めに結成したHiromeyo-artは「美術が好き」という点で共通点があったものの、彫刻に関しての専門的知識は乏しいものでした。まず彫刻とは何なのかを知るために、自転車で市内の全彫刻を見て回り、名古屋芸術大学の彫刻担当の教員にインタビューをすることから始めました。いろいろと資料を探る中で明らかになってきたのは、日本には「彫刻のみかた」をやさしく解説した本は少ないということ。ならば我々が、もっと彫刻に親しむためにこの北名古屋市の彫刻群を素材としてそんな本を作ってしまう、と思い立ったのが「しむしむ」のスタートでした。

その点で北名古屋市の彫刻群は、彫刻を学ぶためには格好の素材だと思います。彫刻の歴史で長く作られてきた写実的人体像、彫刻を学ぶ学生たちの手探りながらも真摯な作品、そして現代の表現を代表する抽象的表現の作品がバランスよく展示され、彫刻の流れとともに彫刻家の成長の過程も知ることが出来ます。大きすぎないスケールも彫刻への親しみを強めてくれるのではないのでしょうか。彫刻に限らずすべての芸術表現は、見る人がいるからこそ存在に意味が出てきます。この本をヒントに市民の皆さんがそれぞれの方法で彫刻を「しむしむ（親しむ／楽しむ／愛おしむ）」して頂けたらいいな、と思っています。「しむしむ」を制作する間には多くの市民、名古屋芸術大学のスタッフ、学生の皆さまにご協力を頂きました。ありがとうございました。

Hiromeyo-art

片山 浩 天野陽史 田中 恵 鈴木恵実

参考文献

『彫塑 制作と技法の実際』岩野勇三(日寛出版社)

P7 具象彫刻と抽象彫刻って？

大辞林 第三版 三省堂

P54-55 彫刻歴史特論

”SCULPTURE From Antiquity to the Present Day” (TASCHEN)

“sculpture” (Moonlight Publishing)

『近代彫刻史』ハーバート・リード(言叢社)

『美術手帖「現代彫刻と環境」1974/12』(美術出版社)

『美術手帖「現代彫刻の発言」1986/6』(美術出版社)

『美術手帖「彫刻ってなんだろう？」2006/3』(美術出版社)

P56-57 彫刻素材論

『素材加工辞典』アイ・シー・アイデザイン

研究所 飯田吉秋／黒田弥生(誠文堂新光社)

日本の銅像探偵団

<http://www.geocities.jp/douzouz/>

株式会社スチール <http://www.steel.co.jp/html/oshiet.top.html>

デジタル図鑑

<http://www.digital-dictionary.net/stone/stone.html>

しむしむ

北名古屋市彫刻ガイドブック

制作

名古屋芸術大学
Hiromeyo-art

(片山 浩、天野陽史、田中 恵、鈴木恵実)

ディレクション

片山 浩

デザイン

天野陽史

イラストレーション

田中 恵 鈴木恵実

撮影

片山 浩 天野陽史 田中 恵

協力

名古屋芸術大学アートクリエイターコース
(彫刻／陶芸・ガラス／版画・平面／コミュニケーションアート／美術文化)

加藤真浩

彫刻専攻の学生の皆さん

浅井和真 富永和裕

アートクリエイターコースの学生の皆さん

クリエ造形教室

加藤佐帆 加藤仁子

柴田妃奈子 寺田和花那

古澤まおな 前田菜摘

小久保光将

印刷・製本

大英印刷工業 株式会社

発行

北名古屋市

発行年月

2013年3月

編集

しむしむ編集部

〒481-8535 北名古屋市徳重西沼65

名古屋芸術大学 アートクリエイターコース内

TEL : 0568-24-0325

FAX : 0568-24-0326

Mail: hiromeyoart@gmail.com



本書に掲載したデータ(地名、職名、作品など)は2013年1月現在のものです。
本誌掲載の写真・図版・記事等の無断複写・転載を禁じます。
copyright © Kitanagoya City 2013